

令和6年度 京都府立特別支援学校
幼稚部・高等部等
入学希望者募集要項

京 都 府 教 育 委 員 会

令和6年度 京都府立特別支援学校幼稚部・高等部等入学希望者募集要項

目 次

幼稚部・高等部

1	募集する学校の部科等及び募集定員	3
2	通学区域等	3
3	志願者の資格	3
4	出願の要領	4
5	入学者の選考	6
6	選考結果の通知	6
7	京都府立盲学校及び聾学校高等部入学者選考の学力検査 (追検査を含む。) 得点の開示	7
8	その他	7

高等部職業学科

1	募集する学校の部科等及び募集定員	11
2	通学区域等	11
3	志願者の資格	11
4	出願の要領	12
5	入学者の選考	13
6	合格者の発表	14
7	京都府立特別支援学校高等部職業学科入学者選考 (追検査を含む。) の総合問題(国語及び数学) 得点の開示	14
8	その他	15

別表1	募集定員	19
-----	------	----

別表2	通学区域	20
-----	------	----

学校教育法施行令	第22条の3(参考)	22
----------	------------	----

各種様式		25
------	--	----

様式記入例		51
-------	--	----

特別事情具申手続		69
----------	--	----

様式の規格等		88
--------	--	----

幼稚部

対 象

- ・京都府立盲学校
- ・京都府立聾学校

高等部

対 象

- ・京都府立盲学校
(高等部専攻科・専攻科研究部を含む。)
- ・京都府立聾学校
- ・京都府立向日が丘支援学校
- ・京都府立宇治支援学校
- ・京都府立城陽支援学校(職業学科を除く。)
- ・京都府立八幡支援学校(職業学科を除く。)
- ・京都府立井手やまぶき支援学校
- ・京都府立南山城支援学校
- ・京都府立丹波支援学校
- ・京都府立中丹支援学校
- ・京都府立舞鶴支援学校
- ・京都府立与謝の海支援学校

令和6年度京都府立特別支援学校幼稚部・高等部等 入学希望者募集要項

令和5年8月29日
京都府教育委員会

令和6年度京都府立特別支援学校幼稚部及び高等部等入学希望者（以下「志願者」という。）の募集を次のとおり定める。

なお、京都府立城陽支援学校高等部職業学科及び京都府立八幡支援学校高等部職業学科の募集については別に定める。

1 募集する学校の部科等及び募集定員

別表1（19ページ）のとおりとする。

2 通学区域等

別表2（20ページ）のとおりとする。

3 志願者の資格

- (1) 学校教育法施行令（昭和28年政令第340号）第22条の3に規定する程度の障害のある者
- (2) 次のいずれかに該当する者
 - ア 保護者（親権を行う者又は未成年後見人若しくは成年後見人をいう。ただし、志願者が成年の場合にあっては本人。以下同じ。）の住所（生活の本拠とするところをいう。以下同じ。）が別表2にある通学区域内にある者
 - イ ア以外の者で、特別事情具申手続（69ページ）により、京都府教育委員会教育長の許可を受けた者
- (3) 次のアからエまでの部科ごとに、それぞれの要件に該当する者
 - ア 幼稚部
平成30年4月2日から令和3年4月1日までの間に生まれた幼児で通学可能な者
 - イ 高等部（城陽支援学校を除く。）
志願者の資格は次の（ア）又は（イ）のいずれかに該当する者
 - （ア） 中学部若しくは中学校（義務教育学校後期課程を含む。以下同じ。）を令和6年3月に卒業予定の者又は令和5年3月以前に卒業した者
 - （イ） 高等部入学に関し、中学校及び特別支援学校中学部を卒業した者と同等以上と認められる次のaからcのいずれかに該当する者
 - a 外国において、学校教育における9年の課程を修了した者（令和6年3月31日までに修了する見込みの者を含む。）
 - b 文部科学大臣が中学校の課程に相当する課程を有するものとして指定した在外教育施設の当該課程を修了した者（令和6年3月31日までに修了する見込みの者を含む。）
 - c その他特別支援学校長が中学校及び特別支援学校中学部を卒業した者と同等以上と認定された者

ウ 高等部（城陽支援学校普通科）

志願者の資格は次の（ア）及び（イ）又は（ウ）に該当する者

（ア） 独立行政法人国立病院機構南京都病院に入院加療する重症心身障害の者

（イ） 中学部若しくは中学校（義務教育学校後期課程を含む。以下同じ。）を令和6年3月に卒業予定の者又は令和5年3月以前に卒業した者

（ウ） 高等部入学に関し、中学校及び特別支援学校中学部を卒業した者と同等以上と認められる次の a から c のいずれかに該当する者

a 外国において、学校教育における9年の課程を修了した者（令和6年3月31日までに修了する見込みの者を含む。）

b 文部科学大臣が中学校の課程に相当する課程を有するものとして指定した在外教育施設の当該課程を修了した者（令和6年3月31日までに修了する見込みの者を含む。）

c その他特別支援学校長が中学校及び特別支援学校中学部を卒業した者と同等以上と認定された者

エ 高等部専攻科・高等部専攻科研究部

盲学校長が別に定める要件に該当する者

4 出願の要領

(1) 提出書類

ア 幼稚部入学希望者

書類名	提出部数	作成者
入学願書（幼稚部）（様式1の1）	1通	保護者
京都府立特別支援学校幼稚部入学希望者調査書（様式1の2）	1通	保護者
返信用封筒（長形3号封筒） 選考結果を通知するため、保護者の住所及び氏名を記入し、84円切手を貼ること。	1枚	保護者
その他志願先の校長が別に定める書類	備考2	備考2
令和6年度幼稚部入学願書の提出について（様式4の1）	原本1部 写し3部	市町（組合）教育委員会 備考3

備考 1 特別事情具申手続（69ページ）により許可申請手続を行い、受理書又は許可書の交付を受けた者は、それを入学願書（幼稚部）に添付すること。

2 その他志願先の校長が定める書類については、別に定める。

3 写し3部の内訳は、教育局用1部、特別支援教育課用1部、市町（組合）教育委員会用1部とする。

イ 高等部入学希望者

書類名	提出部数	作成者
入学願書（高等部）（様式2の1）	1通	志願者・保護者
入学願書（高等部）（様式2の2）	1通	中学校長、特別支援学校長、施設長、 市町（組合）教育委員会教育長
受検票（様式2の3） 受検票及び写真票の様式に所要事項を記入し、所定の大きさの写真を貼付すること。ただし、盲学校を志願する場合は、盲学校長が別に定める。	1通	志願者・保護者

京都府立特別支援学校高等部入学希望者調査書（様式2の4）	1通	保護者
返信用封筒（長形3号封筒） 選考結果を通知するため、志願者及び保護者の住所及び氏名を記入し、84円切手を貼ること。	1枚	志願者・保護者
報告書（様式2の5及び様式2の6） ※志願者の教育課程に応じて選択し、使用すること。	1通	中学校長及び特別支援学校長
報告書（様式2の7）府立盲学校及び聾学校用 ※志願者の教育課程に応じて選択し、使用すること。	1通	中学校長及び特別支援学校長
その他志願先の校長が別に定める書類	備考2・3	備考2・3
令和6年度高等部入学願書の提出について（様式4の2）	原本1部 写し3部	市町（組合）教育委員会 備考4

- 備考 1 特別事情具申手続（69ページ）により許可申請手続を行い、受理書又は許可書の交付を受けた者は、それを入学願書（高等部）に添付すること。
- 2 高等部専攻科及び高等部専攻科研究部入学希望者は、京都府立盲学校長が別に定める書類（眼科診断書等）を提出すること（京都府立盲学校 TEL075-462-5083）
- 3 公立中学校及び中学部に在籍していない志願者は、療育手帳及び身体障害者手帳のコピー若しくは医師の診断書を提出すること。
- 4 写し3部の内訳は、教育局用1部、特別支援教育課用1部、市町（組合）教育委員会用1部とする。

(2) 書類の提出期限

- ア 幼稚部・高等部（盲学校及び聾学校）
令和6年1月19日（金）
- イ 高等部（盲学校及び聾学校を除く。）
令和6年1月15日（月）
- ウ 高等部専攻科及び高等部専攻科研究部
盲学校長が別に定めるため、盲学校に直接問い合わせること。

(3) 提出先

住所の存する市町（組合）教育委員会とする。ただし、次のアからウまでの場合は、志願先の特別支援学校へ提出すること。

なお、市町（組合）教育委員会から特別支援学校への提出については別途通知する。

- ア 特別支援学校（京都府立以外のものを含む。）中学部に在籍する者が高等部に入学を希望する場合
- イ 高等部専攻科・高等部専攻科研究部に入学を希望する場合
- ウ 通学区域外に住所がある者が入学を希望する場合

(4) 特別支援学校長の処理（盲学校及び聾学校を除く。）

特別支援学校長は、提出された書類を審査の上受け付け、受検票（様式2の3）に所要事項を記入し、契印の上、切り離して志願者が中学校に在籍している場合は中学校長へ、志願者が中学校及び特別支援学校中学部を卒業している場合は、志願者本人へ送付するものとする。

なお、事務手続きに係る詳細については、特別支援学校長へ別途通知する。

(5) 入学願書について

- ア 住所及び氏名の記入については、住民基本台帳等のおおりを基本とし、楷書で正

確に記入すること。

なお、志願者と保護者の住所が同じ場合は保護者の住所欄に「志願者に同じ」と記入すること。

中学校及び特別支援学校中学部で確認する場合には、指導要録によるものとする。なお、志願者、保護者の氏名、住所の字体について指導要録と相違する以下のような場合についても受理する。

(ア) 志願者、保護者の氏名、住所の字体について住民基本台帳等及び指導要録と相違するが、同一の氏名、地名であることが確認できる場合

例 「崎」と「寄」、「斉」と「齋」や「齊」、「吉」と「吉」

(イ) 志願者、保護者の住所の表記が簡略化されている場合

例 「〇〇マンション△△号室」と「〇〇マンション△△」、「〇〇番地の△」
と「〇〇-△」や「〇〇の△」、「府営住宅〇〇団地」と「〇〇団地」

イ 外国人で通名の使用を希望する者(住民基本台帳に通名が記載されている場合に限る。)は、志願者の作成する願書等について通名のみを記入してもさしつかえない。(ただし、中学校及び特別支援学校中学部作成の資料については、「本名(通名)」のように「本名」と「通名」を併記すること。)

5 入学者の選考

(1) 検査、面接、調査書等により選考する。検査並びに面接の日時、場所及び方法については、志願先の特別支援学校長から保護者に別途通知する。

(2) やむを得ない理由による欠席者及び途中退場者の取扱い(特別支援学校中学部の志願者についても同様の取り扱いとする。)

ア 欠席者について

検査当日やむを得ない理由によって欠席した者で、欠席した日の当日午後4時までに、追検査願(様式2の8)に診断書等理由を証明する書類を添えて、中学校長を経由して特別支援学校長に届けた者は、追検査(各校で日程を定める。)を受検することができる。

イ 検査会場からの途中退場者について

やむを得ない理由によって途中で受検不可能となり検査会場の外へ出た場合限り、途中退場した日の当日午後4時までに追検査願(様式2の8)に診断書等理由を証明する書類を添えて、中学校長を経由して特別支援学校長に届けた者について、受検不可能となった検査より後の検査に限って追検査(各校で日程を定める。)の受検を認めることがある。

ウ ア及びイにおいて、午後4時までに届出が間に合わない場合には、中学校長を経由して特別支援学校長に申し出ること。

6 選考結果の通知

志願先の特別支援学校長から志願者に選考結果通知書(様式5)を通知する。

なお、通知の発送日及び方法については、各校から保護者に伝えることとする。

7 京都府立盲学校及び聾学校高等部入学者選考の学力検査（追検査を含む。）得点の開示

京都府個人情報保護条例に基づく簡易開示制度により、京都府立盲学校及び聾学校高等部入学者選考の学力検査（追検査を含む。）得点の開示を行う。

(1) 開示請求者

原則として、京都府立盲学校及び聾学校高等部入学者選考の学力検査（追検査を含む。）受検者本人が行うこと。

(2) 開示の内容

京都府立盲学校及び聾学校高等部入学者選考の学力検査（追検査を含む。）における各教科別得点及び合計点

(3) 開示の期間

京都府立盲学校及び聾学校高等部入学者選考の合格発表の日から起算して1ヶ月間

(4) 開示の時間

午前9時から午後4時まで（ただし、合格発表日については、合格発表時から午後4時までとする。）

(5) 開示の場所

学力検査（追検査を含む。）を受検した学校

(6) 開示請求の方法

開示の場所において、受検票及び中学校、高等学校又は特別支援学校の生徒手帳等本人であることの確認ができる書類を提示すること。

(7) その他

電話、はがき等による請求では開示できない。

8 その他

(1) 高等部普通科を志願する者は、入学を希望する学校で実施される学校説明会、体験学習等に参加すること。

(2) 特別支援学校長は、特別な事情がある場合には、京都府教育委員会教育長の承認を得て第二次選考を行うことができるものとする。この場合の出願の手続については別途定める。

(3) 入学考査料、入学料及び授業料は、徴収しない。

(4) 原則、入学辞退は認めないが、万一、急な転居等によるやむを得ない事情により、入学できない生徒のあることが判明した場合は早急に合格した特別支援学校長に連絡するとともに辞退届を提出すること。

(5) 寄宿舍及びスクールバスについては、次のとおりである。

ア 寄宿舍を置く学校

盲学校及び同舞鶴分校、聾学校及び同舞鶴分校、丹波支援学校及び与謝の海支援学校

イ スクールバスを運行する学校

盲学校、聾学校、向日が丘支援学校、宇治支援学校、八幡支援学校、井手やまぶき支援学校、南山城支援学校、丹波支援学校、中丹支援学校、舞鶴支援学校及び与謝の海支援学校

高等部職業学科

対 象

- ・京都府立城陽支援学校
(ビジネス総合科)
- ・京都府立八幡支援学校
(福祉総合科)

令和6年度京都府立特別支援学校高等部 職業学科入学希望者募集要項

令和5年8月29日
京都府教育委員会

令和6年度京都府立城陽支援学校高等部職業学科及び京都府立八幡支援学校高等部職業学科入学希望者（以下「志願者」という。）の募集を次のとおり定める。

1 募集する学校の部科等及び募集定員

別表1（19ページ）のとおりとする。

2 通学区域等

別表2（20ページ）のとおりとする。

3 志願者の資格

志願者の資格は、次の(1)及び(2)のいずれかにおいて、(3)から(6)までのいずれにも該当する者であること。

- (1) 中学部若しくは中学校（義務教育学校後期課程を含む。以下同じ。）を令和6年3月に卒業予定の者又は令和5年3月以前に卒業した者
- (2) 高等部職業学科入学に関し、中学校及び特別支援学校中学部を卒業した者と同等以上と認められる次のいずれかに該当する者
 - ア 外国において、学校教育における9年の課程を修了した者（令和6年3月31日までに修了する見込みの者を含む。）
 - イ 文部科学大臣が中学校の課程に相当する課程を有するものとして指定した在外教育施設の当該課程を修了した者（令和6年3月31日までに修了する見込みの者を含む。）
 - ウ その他特別支援学校長が中学校及び特別支援学校中学部を卒業した者と同等以上と認定された者
- (3) 次のいずれかに該当する者
 - ア 保護者（親権を行う者又は未成年後見人若しくは成年後見人をいう。ただし、志願者が成年の場合にあっては本人。以下同じ。）の住所（生活の本拠とするところをいう。以下同じ。）が別表2にある通学区域内にある者
 - イ ア以外の者で、特別事情具申手続（69ページ）により、京都府教育委員会教育長の許可を受けた者
- (4) 学校教育法施行令（昭和28年政令第340号）第22条の3に規定する程度の知的障害者であり、療育手帳を有するなど特別な支援を必要とする者
- (5) 公共交通機関を利用して、通学可能な者（ただし、特別支援学校長がその他の手段で通学することを認めた者を含む。）
- (6) 企業就労を目指す意欲を有する者

4 出願の要領

(1) 第3志望まで志願できる。

なお、志願方法については記入例を参照のこと。(59ページ)

(2) 提出書類

書類名	提出部数	作成者
入学願書（高等部職業学科）（様式3の1）	1通	志願者・保護者
入学願書（高等部職業学科）（様式3の2）	1通	中学校長、特別支援学校長、施設長、市町（組合）教育委員会教育長
受検票（様式3の3） 受検票及び写真票の様式に所要事項を記入し、所定の大きさの写真を貼付すること。	1通	志願者・保護者
京都府立特別支援学校高等部入学希望者調査書（職業学科）（様式3の4）	1通	保護者
<特別な支援を必要とすることを証明する書類> ※1か2のどちらかを提出すること 1 療育手帳又は医師が作成する診断書 卒業予定の者については、どちらかの写しを提出すること。なお、卒業した者については、療育手帳の写しを必ず提出すること。 2 療育手帳取得に係る確認書（高等部職業学科）（様式3の8） 現在、療育手帳を所有していない、かつ、医師が作成する診断書を所持していない場合に提出すること。なお、療育手帳の取得申請中、もしくはこれから取得しようとする意思を確認する書類として提出すること。	1通	保護者
報告書（様式3の5、様式3の6及び様式3の7） 志願者の教育課程に応じて選択し、使用すること。	1通	中学校長及び特別支援学校長
令和6年度高等部入学願書の提出について（様式4の2）	原本1部 写し3部	市町（組合）教育委員会 備考3

備考 1 特別事情具申手続（69ページ）に規定する許可申請手続を行い、受理書又は許可書の交付を受けた者は、それを入学願書（高等部職業学科）（様式3の1）に添付すること。

2 第2志望及び第3志望において高等部普通科を志望する者は、返信用封筒（長形3号封筒）を添付する。その際、志願者及び保護者の住所及び氏名を記入し、84円切手を貼ること。

3 写し3部の内訳は、教育局用1部、特別支援教育課用1部、市町（組合）教育委員会用1部とする。

(3) 書類の提出期限

令和6年1月15日（月）

(4) 提出先

住所の存する市町（組合）教育委員会とする。ただし、次の場合は、第1志望の志願先の特別支援学校へ提出すること。

なお、市町（組合）教育委員会から特別支援学校への提出については別途通知する。

ア 特別支援学校（京都府立以外のものを含む。）中学部に在籍する者が高等部に入学を希望する場合

イ 通学区域外に住所がある者が入学を希望する場合

(5) 特別支援学校長の処理

特別支援学校長は、提出された書類を審査の上受け付け、受検票（様式3の3）に所要事項を記入し、契印の上、切り離して志願者が中学校に在籍している場合は中学校長へ、志願者が中学校及び特別支援学校中学部を卒業している場合は、志願者本人へ送付するものとする。

なお、事務手続に係る詳細については、特別支援学校長へ別途通知する。

(6) 入学願書について

ア 住所及び氏名の記入については、住民基本台帳等のおりを基本とし、楷書で正確に記入すること。

なお、志願者と保護者の住所が同じ場合は保護者の住所欄に「志願者に同じ」と記入すること。

中学校及び特別支援学校中学部で確認する場合においては、指導要録によるものとする。なお、志願者、保護者の氏名、住所の字体について指導要録と相違する以下のような場合についても受理する。

(ア) 志願者、保護者の氏名、住所の字体について住民基本台帳等及び指導要録と相違するが、同一の氏名、地名であることが確認できる場合

例 「崎」と「寄」、「斎」と「齋」や「齊」、「吉」と「吉」

(イ) 志願者、保護者の住所の表記が簡略化されている場合

例 「〇〇マンション△△号室」と「〇〇マンション△△」、「〇〇番地の△」
と「〇〇-△」や「〇〇の△」、「府営住宅〇〇団地」と「〇〇団地」

イ 外国人で通名の使用を希望する者（住民基本台帳に通名が記載されている場合に限る。）は、志願者の作成する願書等について通名のみを記入しても差し支えない。（ただし、中学校及び特別支援学校中学部作成の資料については、「本名（通名）」のように「本名」と「通名」を併記すること。）

なお上記以外の場合で、中学校長が特に教育上配慮が必要な場合に限り、志願者の作成する願書等について通名のみを記入しても差し支えない。（ただし、中学校作成資料については、「本名（通名）」のように「本名」と「通名」を併記すること。また、中学校長の副申書が必要。）

5 入学者の選考

(1) 選考日

令和6年2月1日（木）及び2日（金）

追検査日：令和6年2月8日（木）

(2) 場 所

第1志望の志願先の特別支援学校

(3) 内 容

総合検査、適性検査、面接（個人）及び報告書をもとに、総合的に判断し、可否を決定する。

(4) その他

ア 各校の職業学科入学選考実施要項参照のこと。また、検査、面接の日時、場所及び方法は、第1志望の志願先の特別支援学校長から保護者に別途通知する。

イ 職業学科の可否結果が合格範囲外である場合、第2又は第3志望欄に記入した特別支援学校高等部普通科の第二次選考の連絡を別途行う。（願書等の提出は不要。）

ウ やむを得ない理由による欠席者及び途中退場者の取扱い（特別支援学校中学部からの志願者についても同様の取り扱いとする。）

(ア) 欠席者について

検査当日やむを得ない理由によって欠席した者で、欠席した日の当日午後4時までに、追検査願（様式3の9）に診断書等理由を証明する書類を添えて、中学校長を経由して特別支援学校長に届けた者は、追検査（令和6年2月8日（木））を受検することができる。

(イ) 検査会場からの途中退場者について

やむを得ない理由によって途中で受検不可能となり検査会場の外へ出た場合に限り、途中退場した日の当日午後4時までに追検査願（様式3の9）に診断書等理由を証明する書類を添えて、中学校長を経由して特別支援学校長に届けた者について、受検不可能となった検査より後の検査に限って追検査（令和6年2月8日（木））の受検を認めることがある。

(ウ) (ア) 及び (イ) において、午後4時までに届出が間に合わない場合には、中学校長を経由して特別支援学校長に申し出ること。

6 合格者の発表

令和6年2月9日（金）午後1時から午後4時までの間、志願先の特別支援学校において、受付番号で発表するものとする。

また、京都府教育委員会特別支援教育課のホームページにおいても、**同日午後1時から午後4時**までの間、受付番号で発表するものとする。

上記の時間内に合格者に対し、合格校において、合格通知書（様式6）を交付する。

7 京都府立特別支援学校高等部職業学科入学者選考（追検査を含む。）の総合問題（国語及び数学）得点の開示

京都府個人情報保護条例に基づく簡易開示制度により、京都府立特別支援学校高等部職業学科入学者選考（追検査を含む。）の総合問題（国語及び数学）得点の開示を行う。

(1) 開示請求者

原則として、京都府立特別支援学校高等部職業学科入学者選考（追検査を含む。）の総合問題（国語及び数学）受検者本人が行うこと。

(2) 開示の内容

京都府立特別支援学校高等部職業学科入学者選考（追検査を含む。）の総合問題（国語及び数学）における各教科別得点及び合計点

(3) 開示の期間

京都府立特別支援学校高等部職業学科入学者選考の合格発表の日から起算して1ヶ月間

(4) 開示の時間

午前9時から午後4時まで（ただし、合格発表日については、合格発表時から午後4時までとする。）

(5) 開示の場所

京都府立特別支援学校高等部職業学科入学者選考を受検した学校

(6) 開示請求の方法

開示の場所において、受検票及び中学校、高等学校又は特別支援学校の生徒手帳等本人であることの確認ができる書類を提示すること。

(7) その他

電話、はがき等による請求では開示できない。

8 その他

(1) 志願者は、入学を希望する学校で実施される学校説明会、体験学習等に参加すること。（職業学科及びそれ以外の学科を志願する場合は、それぞれの学校及び学科ごとに体験学習への参加及び入学相談（個別進学相談会）を受けること。）

(2) 入学考査料、入学料及び授業料は、徴収しない。

(3) 原則、入学辞退は認めないが、万一、急な転居等によるやむを得ない事情により、入学できない生徒のあることが判明した場合は早急に合格した特別支援学校長に連絡するとともに辞退届を提出すること。

募集定員・通学区域

学校教育法施行令

別表 1

令和 6 年度京都府立特別支援学校幼稚部・高等部等
第 1 学年生徒等募集定員

学 校 名	部 及 び 科	学 科	募集定員	摘 要
盲 学 校	幼 稚 部		若干名	視 覚 障 害 教 育
	高 等 部	普 通 科	10 名	
		保 健 理 療 科	8 名	
		音 楽 科	若干名	
	高等部専攻科	普 通 科	10 名	
		保 健 理 療 科	10 名	
		理 療 科	10 名	
音 楽 科		若干名		
高等部専攻科研究部	理 療 科	10 名		
盲 学 校 舞 鶴 分 校	幼 稚 部		若干名	視 覚 障 害 教 育
聾 学 校	幼 稚 部		若干名	聴 覚 障 害 教 育
	高 等 部	普 通 科	10 名	
		京 都 ア ー ト 科	8 名	
		情 報 科	8 名	
聾 学 校 舞 鶴 分 校	幼 稚 部		若干名	聴 覚 障 害 教 育
向 日 が 丘 支 援 学 校	高 等 部	普 通 科	30 名	知 的 障 害 教 育 肢 体 不 自 由 教 育
宇 治 支 援 学 校	高 等 部	普 通 科	40 名	知 的 障 害 教 育 肢 体 不 自 由 教 育
城 陽 支 援 学 校	高 等 部	普 通 科	10 名	知 的 障 害 ・ 肢 体 不 自 由 教 育 (重 度 重 複 障 害 生 徒 対 象)
		ビ ジ ネ ス 総 合 科	20 名	
八 幡 支 援 学 校	高 等 部	普 通 科	20 名	知 的 障 害 教 育 肢 体 不 自 由 教 育
		福 祉 総 合 科	10 名	知 的 障 害 教 育
井 手 や ま ぶ き 支 援 学 校	高 等 部	普 通 科	20 名	知 的 障 害 教 育 肢 体 不 自 由 教 育
南 山 城 支 援 学 校	高 等 部	普 通 科	20 名	知 的 障 害 教 育 肢 体 不 自 由 教 育
丹 波 支 援 学 校	高 等 部	普 通 科	30 名	知 的 障 害 教 育 肢 体 不 自 由 教 育
中 丹 支 援 学 校	高 等 部	普 通 科	30 名	知 的 障 害 教 育 肢 体 不 自 由 教 育
舞 鶴 支 援 学 校	高 等 部	普 通 科	30 名	知 的 障 害 教 育 肢 体 不 自 由 教 育
与 謝 の 海 支 援 学 校	高 等 部	普 通 科	20 名	知 的 障 害 教 育 肢 体 不 自 由 教 育

別表2

令和6年度京都府立特別支援学校幼稚部・高等部等通学区域

学 校 名 等		通 学 区 域 又 は 対 象 者
盲 学 校	幼 稚 部	京都市、向日市、長岡京市、大山崎町、宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、木津川市、久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村、亀岡市、南丹市、京丹波町
	高 等 部 等	府の区域の全部
盲 学 校 舞 鶴 分 校	幼 稚 部	綾部市、福知山市、舞鶴市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町
聾 学 校	幼 稚 部	京都市、向日市、長岡京市、大山崎町、宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、木津川市、久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村、亀岡市、南丹市、京丹波町
	高 等 部	府の区域の全部
聾 学 校 舞 鶴 分 校	幼 稚 部	綾部市、福知山市、舞鶴市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町
向日が丘支援学校	高 等 部	向日市、長岡京市、大山崎町
宇 治 支 援 学 校	高 等 部	宇治市、城陽市
城 陽 支 援 学 校	高 等 部 普 通 科	独立行政法人国立病院機構南京都病院重症心身障害施設入所者
	高 等 部 ビジネス総合科	宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、木津川市、久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村
八 幡 支 援 学 校	高 等 部 普 通 科	八幡市、久御山町、桃山学園入所者
	高 等 部 福祉総合科	宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、木津川市、久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村、桃山学園入所者（ただし、八幡支援学校中学部在籍者に限る。）
井手やまぶき支援学校	高 等 部	京田辺市、木津川市（梅美台小学校区、州見台小学校区、城山台小学校区、上狛小学校区、棚倉小学校区）、井手町、宇治田原町
南 山 城 支 援 学 校	高 等 部	木津川市（木津小学校区、相楽小学校区、高の原小学校区、相楽台小学校区、木津川台小学校区、加茂小学校区、恭仁小学校区、南加茂台小学校区）、笠置町、和束町、精華町、南山城村
丹 波 支 援 学 校	高 等 部	亀岡市、南丹市、京丹波町
中 丹 支 援 学 校	高 等 部	綾部市、福知山市
舞 鶴 支 援 学 校	高 等 部	舞鶴市
与謝の海支援学校	高 等 部	宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町

注1 八幡支援学校高等部普通科の通学区域のうち、次表左欄の調整地域については、次表右欄のとおり取り扱う。

調整地域	取扱い
八幡市八幡樋ノ口 八幡市川口高原 八幡市八幡長町（宇治川以南）	志願先の特別支援学校は、原則として八幡支援学校とする。ただし、保護者が京都市立呉竹総合支援学校高等部入学を希望する場合には、個別協議の上、志願先の特別支援学校を決定する。
八幡市八幡長町（宇治川以北） 久世郡久御山町大橋辺	志願先の特別支援学校は、原則として京都市立呉竹総合支援学校とする。ただし、保護者が八幡支援学校高等部入学を希望する場合には、個別協議の上、志願先の特別支援学校を決定する。

注2 井手やまぶき支援学校の通学区域のうち、京田辺市立大住小学校区、京田辺市立松井ヶ丘小学校区、京田辺市立薪小学校区及び京田辺市立桃園小学校区在住の者で、保護者が八幡支援学校高等部普通科入学を希望する場合には同校を志願先の特別支援学校とし、次のとおり手続を行うこと。

- ① 既に八幡支援学校中学部に在籍している場合には、八幡支援学校普通科を志願先の特別支援学校とし、八幡支援学校へ書類を提出すること。ただし、城陽支援学校職業学科を第1志望としている場合は、城陽支援学校へ書類を提出すること。
- ② 注2に記載の小学校区在住で、井手やまぶき支援学校中学部に在籍する生徒が八幡支援学校高等部普通科を志願する場合には、八幡支援学校へ書類を提出すること。
- ③ 注2に記載の小学校区在住で、京田辺市立中学校に在籍する生徒が八幡支援学校高等部普通科を志願する場合には、特別事情具申手続（69 ページ）を行った上、八幡支援学校へ書類を提出すること。ただし区域外通学で京田辺市立中学校以外の中学校に在籍する場合も同じ手続を行う。

注3 京都市のうち、次表左欄の調整地域については、次表右欄のとおり取り扱う。

なお、京都府立特別支援学校高等部を志願する場合には、特別事情具申手続（69 ページ）を行った上、出願手続を行うこと。

調整地域	取扱い
伏見区淀際目町 伏見区淀生津町 伏見区向島下五反田	志願先の特別支援学校は、原則として八幡支援学校とする。ただし、保護者が京都市立呉竹総合支援学校高等部入学を希望する場合には、個別協議の上、志願先の特別支援学校を決定する。
右京区京北 (京都市立京都京北小中学校区)	保護者が丹波支援学校高等部入学を希望する場合には、個別協議の上、志願先の特別支援学校を決定する。

学校教育法施行令（参考）

第 22 条の 3 法第 75 条の政令で定める視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者の障害の程度は、次の表に掲げるとおりとする。

区 分	障 害 の 程 度
視覚障害者	両眼の視力がおおむね 0.3 未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によつても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴覚障害者	両耳の聴力レベルがおおむね 60 デシベル以上のもので、補聴器等の使用によつても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
知的障害者	<ol style="list-style-type: none"> 1 知的発達が遅延があり、他人との意思疎通が困難で日常生活を営むのに頻繁に援助を必要とする程度のもの 2 知的発達遅延の程度が前号に掲げる程度に達しないものうち、社会生活への適応が著しく困難なもの
肢体不自由者	<ol style="list-style-type: none"> 1 肢体不自由の状態が補装具の使用によつても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 2 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病弱者	<ol style="list-style-type: none"> 1 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 2 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの

備考

- 1 視力の測定は、万国式試視力表によるものとし、屈折異常があるものについては、矯正視力によつて測定する。
- 2 聴力の測定は、日本工業規格によるオーディオメータによる。

各種様式

様式1の1

入学願書(幼稚部)

市町(組合)教育委員会 受付印	教育局受付印

注 1	受付 番号	幼
--------	----------	---

注2

下記の者を京都府立
学校幼稚部に入学させたいので、出願します。

年 月 日

現 住 所

保護者氏名 ㊟ 注3

(電話) _____

注2
京都府立 学校長 様

記

幼 児	ふりがな		年 月 日生
	氏名	保護者との関係()	令和6.4.1現在()歳
	現住所		

注1 「受付番号」は、記入しないでください。

注2 志願先の学校名を記入してください。

注3 「保護者氏名」欄は、保護者自署の場合は押印不要です。その他の場合は保護者印を押印してください。

注4 修正する場合は、二重線を引いてください。(押印不要)

京都府立特別支援学校幼稚部入学希望者調査書

注1 ※受付番号								注2
幼児	ふりがな				保護者	ふりがな		
	氏名					氏名	⑨	
修学 状況	入学前	幼稚園	年 月()歳から			療育園	年 月()歳から	
		保育所 認定こども園	年 月()歳まで			整肢園	年 月()歳まで	
障害 の 状 況	主たる障害 注3 (該当するものに○)	視覚障害	聴覚障害		視力・聴力 (検査の結果がある 場合記入)	視力	右 (矯正)	
		知的障害	肢体不自由				左 (矯正)	
	病名・障害名等 注3	病(虚)弱		聴力		右 dB		
						左 dB		
身体障害者手帳の 有無 注4	有・無	種 級	交付年月日 年 月 日					
療育手帳の有無 注4	有・無	A・B	交付年月日 年 月 日					
日 常 生 活 の 状 況 注5	視 覚	1 よく見えていると思う。 2 目の前で指の数がわかる。 3 目の前の指の動きがわかる。 4 視野がせまい。 5 光覚がない。 6 見えているかどうかわからない。				状況の説明		
	聴 覚	1 よく聞こえていると思う。 2 大声で呼ぶと振り向くが小さい声では気づかない。 3 聞こえているかどうかわからない。				状況の説明		
	言 語	1 普通に話せる。 2 片言で話せる。 3 表情、身ぶりで表現する。 4 話せない。				状況の説明		
	衣服の着脱	1 自分でできる。 2 一部手伝っている。 3 自分ではできない。				状況の説明		
	歩 行	1 一人で歩く。 2 介助によって歩く。 3 自分ではできない。				状況の説明		
	食 事	1 自分でできる。 2 一部手伝っている。 3 自分ではできない。				状況の説明		
排 せ つ	1 自分でできる。 2 一部手伝っている。 3 自分ではできない。				状況の説明			

注1 「受付番号」(※欄)は、記入しないでください。

注2 保護者が記入してください。保護者自署以外の場合は、保護者印を押印してください。

注3 「主たる障害」は、該当する項目に○で囲み、障害の状態に応じ「病名・障害名等」を記入してください。

なお、重複障害の場合には、いずれにも○を付けてください。

注4 「身体障害者手帳の有無」、「療育手帳の有無」については、該当する方を○で囲み、「有」の場合には、当該手帳の種類等及び交付年月日を記入してください。

注5 「日常生活の状況」については、視覚から排せつまでの全ての項目について、それぞれ該当するいずれかの番号を○で囲むとともに、その詳細について、必要に応じ「状況の説明」欄に記入してください。なお、歩行については、車いす等の使用の詳細を記入してください。

注6 修正する場合は、二重線を引いてください。(押印不要)

注7 空白の部分は斜線を引いてください。

様式2の1

入学願書 (高等部)

市町(組合)教育委員会 受付印	教育局受付印 (盲学校・聾学校出願者のみ)

注 1	受付 番号	高	
--------	----------	---	--

在学(出身) 中学校名 特別支援学校名	
志願者住所	(〒 -)
ふりがな	
志願者氏名	年 月 日生

上記の者は、下記のとおり入学を志望しますので、出願します。

京都府立

学校長 様

年 月 日

(〒 -)

保護者住所

ふりがな

保護者氏名

㊟ 注2

志願者との関係

(電話)

記

志 望	学校名	科名
	学校高等部	科

注3

注1 「受付番号」欄は、記入しないでください。

注2 「保護者氏名」欄は、保護者自署の場合は押印不要です。その他の場合は、保護者印を押印してください。

注3 志願先の学校名及び学科名を記入してください。

注4 修正する場合は、二重線を引いてください。(押印不要)

注5 空白の部分は斜線を引いてください。

様式2の2


入学願書 (高等部)

		志願者氏名
所見	校長	
	施設長	
上記の志願者は 学校 () 学部 年		
[に在学中である を卒業した を修了した] ことを証明します。		
令和 年 月 日		
学校名		
校長名 印		

所見	市町(組合) 教育委員会 教育長	
令和 年 月 日		
教育委員会名		
教育長名 印		

注1 校長欄：通常の学級に在籍している生徒は、就学相談の経過を含めて記入してください。

注2 市町(組合)教育委員会教育長：学校教育法施行令第22条の3に該当するかどうかについて記入してください。

注3 記入の必要のない欄は、斜線() を引いてください。

様式2の3

志願者は、※印の欄を記入しないでください。

写真票

※ 令和6年度 高等部 科		
受検票		
※ 受付番号	第 号	
氏 名		
在学（出身）中学校名 在学（出身）特別支援学校名		
※ 受付学校名（受検会場校）		
<table border="1"> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;">印</td> </tr> </table>		印
印		
<p>1 本票は、入学願いに關する一切の手続受領書を兼ねます。</p> <p>2 検査当日携帯して机の上に置き、その後も合格発表まで保存しておいてください。</p>		

契
印

※ 受付番号		
※ 受付学校名		
ふりがな		
氏 名		
在学（出身）中学校名 在学（出身）特別支援学校名		
<table border="1" style="border-style: dashed;"> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3箇月以内に撮影 ・ 縦 4.5cm、 横 3.5cm程度 ・ 正面、無帽 </td> </tr> </table>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 3箇月以内に撮影 ・ 縦 4.5cm、 横 3.5cm程度 ・ 正面、無帽
<ul style="list-style-type: none"> ・ 3箇月以内に撮影 ・ 縦 4.5cm、 横 3.5cm程度 ・ 正面、無帽 		

受検に關する注意事項

特別支援学校長の指定した時間に会場に集合してください。

なお、持ち物やその他の注意事項は、特別支援学校長が別に指示します。

京都府立特別支援学校高等部入学希望者調査書

注1 ※受付番号						注2
生徒	ふりがな			保護者	ふりがな	
	氏名			氏名		(印)
障害の状況	主たる障害 注3 (該当するものに○)	視覚障害	聴覚障害	視力・聴力 (検査の結果がある場合記入)	視力	右 (矯正)
		知的障害	肢体不自由		左 (矯正)	
	病名・障害名等 注3	病(虚)弱	右		dB	
		左	dB			
身体障害者手帳の有無 注4	有・無	種 級	交付年月日 年 月 日			
療育手帳の有無 注4	有・無	A・B	交付年月日 年 月 日			
日常生活の状況 注5	視 覚	1 よく見えていると思う。 2 小学校1年の教科書程度の文字が見える。 3 目の前で指の数がわかる。 4 目の前の指の動きがわかる。 5 視野がせまい。 6 光覚がない。 7 見えているかどうかわからない。			状況の説明	
	聴 覚	1 よく聞こえていると思う。 2 大声で呼ぶと振り向くが小さい声では気づかない。 3 聞こえているかどうかわからない。			状況の説明	
	言 語	1 普通に話せる。 2 片言で話せる。 3 表情、身ぶりで表現する。 4 話せない。			状況の説明	
	衣服の着脱	1 自分でできる。 2 一部手伝っている。 3 自分ではできない。			状況の説明	
	歩 行	1 一人で歩く。 2 介助によって歩く。 3 自分ではできない。			状況の説明	
	食 事	1 自分でできる。 2 一部手伝っている。 3 自分ではできない。			状況の説明	
排 せ つ	1 自分でできる。 2 一部手伝っている。 3 自分ではできない。			状況の説明		

注1 「受付番号」(※欄)は、記入しないでください。

注2 保護者が記入してください。保護者自署以外の場合は、保護者印を押印してください。

注3 「主たる障害」は、該当する項目に○で囲み、障害の状態に応じ「病名・障害名等」を記入してください。
 なお、重複障害の場合には、いずれにも○を付けてください。

注4 「身体障害者手帳の有無」、「療育手帳の有無」については、該当する方を○で囲み、「有」の場合には、当該手帳の種別等及び交付年月日を記入してください。

注5 「日常生活の状況」については、視覚から排せつまでの全ての項目について、それぞれ該当するいずれかの番号を○で囲むとともに、その詳細について、必要に応じ「状況の説明」欄に記入してください。なお、歩行については、車いす等の使用の詳細を記入してください。

注6 修正する場合は、二重線を引いてください。(押印不要)

注7 空白の部分は斜線を引いてください。

報 告 書

学歴 注2	年 月 日	卒業見込み 中学校 中学校部	卒業	注1 受付番号 受付学校名	性別
				ふりがな	年 月 日生
				氏名	
総合所見及び指導上参考となる諸事項					
出欠の記録 令和5年12月31日現在					
		学 年	1 2 3		
		授業日数			
		出席停止忌引き等の日数			
		欠席日数			
		(備考)			
		健康面等指導上特に配慮を要する事項			
総合的な学習の時間の記録(第3学年)					
		観 点	評 価		
この報告書の記載事項に誤りのないことを証明します。					
校長 証明					
令和 年 月 日					
学校所在地 学校名 校長氏名					
[印]					
記録担当者氏名					

注1 「受付番号」及び「受付学校名」には記入しないでください。
 注2 「学歴」欄は、中学校名等を記入し、卒業見込み又は卒業について該当するものを○で囲んでください。
 注3 「第3学年の学習の記録」の評定中、()には、特別支援学級における評定を記入してください。
 注4 修正する場合は、二重線を引いてください。(押印不要)
 注5 空白の部分は斜線を引いてください。

報 告 書

学歴 注2	年 月 日	中学校 中学部	卒業見込み 卒業	受付番号	
				受付学校名	
				ふりがな	性別
				氏名	年 月 日生
教科等	総合所見及び指導上参考となる諸事項				
	健康面等指導上特に配慮を要する事項				
	校長証明				
	この報告書の記載事項に誤りのないことを証明します。				
				令和 年 月 日	
				学校所在地	
				学校名	
				校長氏名	[印]
	記録担当者氏名				

総合的な学習の時間の記録(第3学年)	出欠の記録
学習活動	令和5年12月31日現在
	学 年
	1 2 3
	授業日数
	出席停止忌引き等の日数
	欠席日数
	(備考)

注1 「受付番号」及び「受付学校名」には記入しないでください。
 注2 「学歴」欄は、中学校名等を記入し、卒業見込み又は卒業について該当するものを○で囲んでください。
 注3 修正する場合は、二重線を引いてください。(押印不要)
 注4 空白の部分は斜線を引いてください。

報 告 書(府立盲学校・聾学校用)

		※受付番号										
		※受付学校名		京都府立 学校								
学歴	年 月 日			ふりがな			性別					
	卒業見込み 中学校			氏名								
	卒業				年 月 日生							
学習の記録	必修教科	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	技術・ 家庭	英語		
	1年	評定										
	2年	評定										
	3年	評定										
		観点別 学習 状況	I									
			II									
	III											
総合的な学習の時間						総合所見						
出欠の記録	学年	授業日数	欠席日数	備考								
	1年											
	2年											
	3年											
(注) 年間20日以上欠席の場合、備考にその主な理由を記入すること。												
校長証明												
この報告書の記載事項に誤りのないことを証明します。												
						令和 年 月 日						
学 校 名						(電話)						
校 長 氏 名						印						
						記録担当者氏名						

- 注1 令和5年12月31日現在の記録を記入してください。
- 2 「総合的な学習の時間」欄は、生徒の3年間の学習状況における顕著な事項等（生徒にどのような力が身についたか・どのような学習成果が得られたのか等）に関して記入してください。
- 3 「総合所見」欄は、3年間の特別活動における活動状況（学級活動、生徒会活動、学校行事等）、部活動の状況、生徒の特技、学校の内外におけるボランティア活動及び表彰を受けた行為や活動、各教科、道徳、その他学校生活全体にわたって認められる行動の状況等について顕著なものを原則として簡条書きで記入してください。
- 4 空白の場合は斜線を引いてください。

報 告 書(府立盲学校・聾学校用)
(令和3年3月以前卒業用)

		※受付番号																																	
		※受付学校名		京都府立 学校																															
学歴	年 月 日			ふりがな							性別																								
	卒業見込み 中学校 卒業			氏名							年 月 日生																								
学習の記録	必修教科		国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	技術・ 家庭	英語																								
	1年	評定																																	
	2年	評定																																	
	3年	評定																																	
		観点別 学習 状況	I																																
			II																																
			III																																
			IV																																
	V																																		
	総合的な学習の時間							総合所見																											
出欠の記録	学年	授業日数	欠席日数	備考																															
	1年																																		
	2年																																		
	3年																																		
(注) 年間20日以上欠席の場合、備考にその主な理由を記入すること。																																			
校 長 証 明																																			
この報告書の記載事項に誤りのないことを証明します。																																			
令和 年 月 日																																			
学 校 名																																			
(電話)																																			
校 長 氏 名																																			
印																																			
記録担当者氏名																																			

注1 「総合的な学習の時間」欄は、生徒の3年間の学習状況における顕著な事項等（生徒にどのような力が身についたか・どのような学習成果が得られたのか等）に関して記入してください。
 注2 「総合所見」欄は、3年間の特別活動における活動状況（学級活動、生徒会活動、学校行事等）、部活動の状況、生徒の特技、学校の内外におけるボランティア活動及び表彰を受けた行為や活動、各教科、道徳、その他学校生活全体にわたって認められる行動の状況等について顕著なものを原則として簡条書きで記入してください。
 注3 空白の場合は、斜線を引いてください。

追 検 査 願 (高等部)

受 付 番 号	氏 名	欠席等の理由

上記理由のとおり、検査を受検することができなかつたので、追検査を許可願います。

年 月 日

保護者氏名



注 「保護者氏名」欄について、保護者自署の場合は押印不要です。
その他の場合については、保護者印を押印してください。

(中学校・特別支援学校校長副申)

上記のとおり相違ないことを証明します。

令和 年 月 日

在学(出身) 中学校・特別支援学校名

校 長 氏 名



(願書提出先)

学校長 様

市町(組合)教育委員会
受付印

入学願書(高等部 職業学科)

注 1	受付 番号	高	
--------	----------	---	--

在学(出身) 中学校名 特別支援学校名	
志願者住所	(〒 -)
ふりがな	
志願者氏名	年 月 日生

上記の者は、下記のとおり入学を志望しますので、出願します。

京都府立

支援学校長 様

年 月 日

(〒 -)

保護者住所

ふりがな

保護者氏名



注2

志願者との関係

(電話)

記

	希望順位	第1志望	第2志望	第3志望
志 望	学校名	支援学校	支援学校	支援学校
	学科名	総合科		

注1 「受付番号」欄は、記入しないでください。

注2 「保護者氏名」欄は、保護者自署の場合は押印不要です。その他の場合は、保護者印を押印してください。

注3 修正する場合は、二重線を引いてください。(押印不要)

注4 空白の部分は、斜線を引いてください。

入 学 願 書 (高等部 職業学科)

		志願者氏名
所 見	校 長	
	施 設 長	
<p>上記の志願者は 学校 () 学部 年</p> <p> { に在学中である を卒業した を修了した } ことを証明します。 </p> <p>令和 年 月 日</p> <p style="text-align: right;"> 学校名 校長名 印 </p>		

所 見	市町（組 合）教育委 員会教育長	
<p>令和 年 月 日</p> <p style="text-align: right;"> 教育委員会名 教 育 長 名 印 </p>		

注 1 校長欄：通常の学級に在籍している生徒は、就学相談の経過を含めて記入してください。

注 2 市町（組合）教育委員会教育長：学校教育法施行令第 22 条の 3 に該当するかどうかについて記入してください。

注 3 記入の必要のない欄は、斜線 () を引いてください。

様式3の3

志願者は、※印の欄を記入しないでください。

写真票

令和6年度 高等部職業学科		
受検票		
※ 受付番号	第 号	
氏 名		
在学（出身）中学校名 在学（出身）特別支援学校名		
※ 受付学校名（受検会場校）		
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">印</td> </tr> </table>		印
印		
<p>1 本票は、入学願いに関する一切の受付領書を兼ねます。</p> <p>2 検査当日携帯して机の上に置き、その後も合格発表まで保存しておいてください。</p>		

契印

※ 受付番号		
※ 受付学校名		
ふりがな		
氏 名		
在学（出身）中学校名 在学（出身）特別支援学校名		
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3箇月以内に撮影 ・ 縦 4.5cm、 横 3.5cm程度 ・ 正面、無帽 </td> </tr> </table>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 3箇月以内に撮影 ・ 縦 4.5cm、 横 3.5cm程度 ・ 正面、無帽
<ul style="list-style-type: none"> ・ 3箇月以内に撮影 ・ 縦 4.5cm、 横 3.5cm程度 ・ 正面、無帽 		

受検に関する注意事項

ア 特別支援学校長の指定した時間に検査会場に集合して注意事項の説明を受けてください。

イ 受検票、弁当及び筆記用具（鉛筆（シャープペンシル可）、消しゴム及び鉛筆削り）を忘れないでください。

その他検査会場によって特に必要なものは、当該特別支援学校長が別に指示します。

なお、筆記用具は、公式や法則等の記入のないものとします。また、計算機能や翻訳機能のある時計等の機器及び文具類並びに携帯電話等の持ち込みは禁止します。

ウ 検査開始後、検査会場の外へ出た場合は、その後の検査は受けられません。

エ 受検中不正行為があった者は、退場を命じられ、その後の検査は受けられません。

京都府立特別支援学校高等部入学希望者調査書（職業学科）

注1 ※受付番号						注2
生徒	ふりがな				保護者	ふりがな
	氏名				氏名	⑩
障害の状況	主たる障害 注3 (該当するものに○)	視覚障害	聴覚障害	視力・聴力 (検査の結果がある場合記入)	視力	右 (矯正)
		知的障害	肢体不自由		左 (矯正)	
	病(虚)弱		聴力		右 dB	
	病名・障害名等 注3		左 dB			
	身体障害者手帳の有無 注4	有・無	種 級		交付年月日	年 月 日
療育手帳の有無 注4	有・無	A・B	交付年月日	年 月 日		
日常生活の状況	注5	状況の説明				
	生活の状況	状況の説明				
	学習の状況	状況の説明				
	通学の状況	状況の説明				
注5	その他	※学校生活を送るうえで、特に、配慮が必要な事項等がありましたら記入してください。				

注1 「受付番号」(※欄)は、記入しないでください。

注2 保護者が記入してください。保護者自署以外の場合は、保護者印を押印してください。

注3 「主たる障害」は、該当する項目に○で囲み、障害の状態に応じ「病名・障害名等」を記入してください。

なお、重複障害の場合には、いずれにも○を付けてください。

注4 「身体障害者手帳の有無」、「療育手帳の有無」については、該当する方を○で囲み、「有」の場合には、当該手帳の種別等及び交付年月日を記入してください。

注5 「日常生活の状況」については、各項目について、「状況の説明」を出来るだけ詳細に記入してください。

「その他」の項目については、学校生活等において、特に配慮が必要な事項がありましたら記入してください。

注6 修正する場合は、二重線を引いてください。(押印不要)

注7 空白の部分は、斜線を引いてください。

報 告 書 (高等部職業学科)

学歴 注2	年 月 日	中学校 中学部	卒業見込み 卒業	注1 受付番号	
				受付学校名	
				ふりがな	性別
				氏名	年 月 日生
総合所見及び指導上参考となる諸事項					
出欠の記録 令和5年12月31日現在					
学 年	1	2	3		
授業日数					
出席停止忌引き等の日数					
欠席日数					
(備考)					
総合的な学習の時間の記録(第3学年)					
学 科	評 定	教 科	評 定		
国 語	()	外国語	()		
社 会	()				
数 学	()				
理 科	()				
音 楽	()				
美 術	()				
保健体育	()				
技術(職業) ・家庭	()				
健康面等指導上特に配慮を要する事項					
この報告書の記載事項に誤りのないことを証明します。					
校長 証明					
令和 年 月 日					
学校所在地 学校名 校長氏名					
[印]					
記録担当者氏名					

注1 「受付番号」及び「受付学校名」には記入しないでください。
 注2 「学歴」欄は、中学校名等を記入し、卒業見込み又は卒業について該当するものを○で囲んでください。
 注3 修正する場合は、二重線を引いてください。(押印不要)
 注4 空白の部分は、斜線を引いてください。

報 告 書 (高等部職業学科)

学歴 注2	年 月 日	中学校 中学部	卒業見込み 卒業	受付番号 受付学校名	性別	
				ふりがな 氏名	年 月 日生	
教科	総合所見及び指導上参考となる諸事項					
国語						
社会						
数学						
理科	健康面等指導上特に配慮を要する事項					
音楽						
美術						
保健体育						
技術(職業)・家庭						
外国語						
特別活動	校 長 証 明					
自立活動	この報告書の記載事項に誤りのないことを証明します。					
学習活動	総合的な学習の時間の記録(第3学年)		出欠の記録			
	評 価		令和5年12月31日現在			
			学 年	1	2	3
			授業日数			
			出席停止・忌引き等の日数			
			欠席日数			
			(備考)			
			学校所在地 学校名 校長氏名			
			令和	年	月	日
			[印]			
			記録担当者氏名			

注1 「受付番号」及び「受付学校名」には記入しないでください。

注2 「学歴」欄は、中学校名等を記入し、卒業見込み又は卒業について該当するものを○で囲んでください。

注3 修正する場合は、二重線を引いてください。(押印不要)

注4 空白の部分は斜線を引いてください。

報 告 書 (高等部職業学科)

学 歴 注2	年 月 日	中学校 中学部	卒業見込み	注1 受付番号	受付学校名	性別
	年 月 日	卒業	卒業	ふりがな	氏名	年 月 日生
教科等	第3学年の学習の記録					
	総合所見及び指導上参考となる諸事項					
	健康面等指導上特に配慮を要する事項					
	校長証明					
	この報告書の記載事項に誤りのないことを証明します。					
	学校所在地					
	学校名					
	校長氏名 印					
	記録担当者氏名					

学習活動	総合的な学習の時間の記録(第3学年) 評価	出欠の記録 令和5年12月31日現在			
		学 年	1	2	3
		授業日数			
		出席停止忌引き等の日数			
		欠席日数 (備考)			

注1 「受付番号」及び「受付学校名」には記入しないでください。
 注2 「学歴」欄は、中学校名等を記入し、卒業見込み又は卒業について該当するものを○で囲んでください。
 注3 修正する場合は、二重線を引いてください。(押印不要)
 注4 空白の部分は斜線を引いてください。

様式3の8

療育手帳取得に係る確認書（高等部職業学科）

注1 ※受付番号		(保護者が記入してください。)
志願者	ふりがな	
	氏名	

この確認書は、現在は療育手帳を所有していない、かつ医師が作成する診断書を所持していない者のみ、記入して提出してください。

※現在、療育手帳を所持している、または医師が作成する診断書を所持している者については、その写しを提出してください。

注2

京都府立_____支援学校長 様

注2

京都府立_____支援学校 高等部職業学科への入学志望に係り、次のとおり、申し出ます。

注3

今後、療育手帳を取得する意思があります。

現在、療育手帳取得の申請中です。

注1 受付番号欄は記入しないでください。

注2 志望する学校名を記入してください。

注3 選択する項目に☑をしてください。

在学中学校・特別支援学校名

志願者氏名

保護者氏名

印

注 保護者自署の場合は押印は不要です。

その他の場合については、保護者印を押印してください。

追 検 査 願 (高等部職業学科)

受 付 番 号	氏 名	第 1 志 望		欠席等の理由
		学 校 名	学 科 名	
		京都府立 () 学校		

上記理由のとおり、検査を受検することができなかつたので、追検査を許可願います。

年 月 日

保護者氏名



注 「保護者氏名」欄について、保護者自署の場合は押印不要です。
その他の場合については、保護者印を押印してください。

(中学校・特別支援学校長副申)

上記のとおり相違ないことを証明します。

令和 年 月 日

在学 (出身) 中学校・特別支援学校名

校 長 氏 名



(願書提出先)

支援学校長 様

様式4の1

令和6年度 幼稚部入学願書の提出について

年 月 日

京都府立 学校長 様
(出願提出先校)

教育委員会名

教育長名



貴校への志願者について、記載事項を確認の上、関係書類を添えて、下記のとおり提出します。

記

入学希望者一覧
(本校)

	氏 名	年 齢 注2	摘 要
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

(分校)

	氏 名	年 齢 注2	摘 要
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

注1 市町(組合)教育委員会は原本を1部、写し3部(教育局用1部、特別支援教育課用1部、市町(組合)教育委員会用1部)を作成し、願書一括受付時に持参すること。

注2 年齢は令和6年4月1日現在で記入のこと。

令和6年度 高等部入学願書の提出について

年 月 日

京都府立 学校長 様
(出願提出先校)

教育委員会名

教育長名



貴校への志願者について、記載事項を確認の上、関係書類を添えて、下記のとおり提出します。

記

学科名【 】 入学希望者一覧

	中学校名	学級在籍状況 注1	氏 名	年齢 注5
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				

注 1 学級在籍状況については、特別支援学級（障害種別）等記入のこと。

注 2 入学希望学校かつ、学科ごとに作成すること。

注 3 人数が枠より多い場合は、枠を追加し、両面印刷で提出のこと。

注 4 市町（組合）教育委員会は原本を1部、写し3部（教育局用1部、特別支援教育課用1部、市町（組合）教育委員会用1部）を作成し、願書一括受付時に持参すること。

注 5 年齢は令和6年4月1日現在で記入のこと。

受付番号 _____

本人氏名 _____ 様

選 考 結 果 通 知 書（高等部 科）

年 月 日

京都府立 学校長



あなたは、令和6年度京都府立特別支援学校高等部入学者選考の結果、本校 科に
（合格・不合格）しましたので通知します。

※事務処理上、一部電算処理できない漢字があるため、字体が異なる場合があります。

受付番号 _____

本人氏名 _____ 様

合 格 通 知 書（高等部職業学科）

年 月 日

京都府立 支援学校長



あなたは、令和6年度京都府立特別支援学校高等部職業学科入学者選考の結果、本校科に合格しましたので通知します。

※事務処理上、一部電算処理できない漢字があるため、字体が異なる場合があります。

様式記入例

様式1の1 記入例

入学願書（幼稚部）

市町(組合)教育委員会 受付印	教育局受付印

注 1	受付 番号	幼	
--------	----------	---	--

下記の者を京都府立 { **盲聾** } ^{注2} 学校幼稚部に入学させたいので、出願します。

令和6年1月 ×日

現住所 **京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町1番地**

保護者氏名 **京都 一郎** 印 ^{注3}

(電話) **075-414-5835**

京都府立 { **盲聾** } ^{注2} 学校長 様

記

幼 児	ふりがな	きょうと たろう	令和2年4月23 日生
	氏名	京都 太郎	令和6.4.1現在(3)歳
	保護者との関係(子)		
	現住所	同上	

注1 「受付番号」は、記入しないでください。

注2 志願先の学校名を記入してください。

注3 「保護者氏名」欄は、保護者自署の場合は押印不要です。その他の場合は保護者印を押印してください。

注4 修正する場合は、二重線を引いてください。(押印不要)

様式1の2 記入例

京都府立特別支援学校幼稚部入学希望者調査書

注1 ※受付番号						注2	
幼児	ふりがな 氏名	きょうと たろう 京都 太郎		保護者	ふりがな 氏名	きょうと いちろう 京都 一郎 ㊞	
修学 状況	入学前	幼稚園 保育所 認定こども園	令和3年4月(1)歳から 年 月()歳まで	療育園 整肢園	令和2年4月(0)歳から 年 月()歳まで		
障害の 状況	主たる障害 注3 (該当するものに○)	視覚障害 <input checked="" type="radio"/> 聴覚障害 知的障害 肢体不自由 病(虚)弱		視力 聴力	<p>■視力・聴力結果は、園・学校や病院等で測定した数値を記入してください。 なお、アルファベット表記での結果の場合は、「異常あり」や「異常なし」と記入いただいても可とします。 ■視力・聴力の結果がない場合は、「測定不能」と記入してください。</p>		
	病名・障害名等 注3	病名・障害名を記入してください。					
	身体障害者手帳の有無 注4	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	2種 6級	交付年月日			令和 3 年 1 月 15 日
	療育手帳の有無 注4	有 <input checked="" type="radio"/> 無	A・B	交付年月日			年 月 日
状況 注5	視覚	① よく見えていると思う。 ② 目の前で指の数がわかる。 ③ 目の前の指の動きがわかる。 ④ 視野がせまい。 ⑤ 光覚がない。 ⑥ 見えているかどうかわからない。			状況の説明	<p>「状況の説明」欄は出来るだけ詳細にご記入ください。</p> <p>記入例(聴覚の場合) ■右が補聴器で、左が人工内耳である。</p> <p>記入例(言語の場合) ■○○において、教育相談を受けている。</p>	
	聴覚	① よく聞こえていると思う。 ② 大声で呼ぶと振り向くが小さい声では気づかない。 ③ 聞こえているかどうかわからない。			状況		
	言語	① 普通に話せる。 ② 片言で話せる。 ③ 表情、身ぶりで表現する。 ④ 話せない。			状況		
	衣服の着脱	① 自分で行える。 ② 一部手伝っている。 ③ 自分ではできない。			状況		
	歩行	① 一人で歩く。 ② 介助によって歩く。 ③ 自分ではできない。			状況		
食事	① 自分で行える。 ② 一部手伝っている。 ③ 自分ではできない。			状況			
排せつ	① 自分で行える。 ② 一部手伝っている。 ③ 自分ではできない。			状況			

注1 「受付番号」(※欄)は、記入しないでください。

注2 保護者が記入してください。保護者自署以外の場合は、保護者印を押印してください。

注3 「主たる障害」は、該当する項目に○で囲み、障害の状態に応じ「病名・障害名等」を記入してください。

なお、重複障害の場合には、いずれにも○を付けてください。

注4 「身体障害者手帳の有無」「療育手帳の有無」については、該当する方を○で囲み、「有」の場合には、当該手帳の種別等及び交付年月日を記入してください。

注5 「日常生活の状況」については、視覚から排せつまでの全ての項目について、それぞれ該当するいずれかの番号を○で囲むとともに、その詳細について、必要に応じ「状況の説明」欄に記入してください。なお、歩行については、車いす等の使用の詳細を記入してください。

注6 修正する場合は、二重線を引いてください。(押印不要)

注7 空白の部分は斜線を引いてください。

様式2の1 記入例

様式2の1

入学願書 (高等部)

市町(組合)教育委員会 受付印	教育局受付印 (盲学校・聾学校出願者のみ)

注 1	受付 番号	高	
--------	----------	---	--

在学(出身) 中学校名 特別支援学校名	〇〇市立 △△中学校
志願者住所	(〒602 - 8570) 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町1
ふりがな	きょうと たろう
志願者氏名	京都 太郎 平成 20 年 4 月 23 日生

上記の者は、下記のとおり入学を志望しますので、出願します。

京都府立

■ ■ 支援

学校長 様

令和6 年 1 月 × 日

志望先の学校名を記入
すること。

(〒 -)

保護者住所 志願者に同じ

ふりがな きょうと いちろう

保護者氏名 京都 一郎 (印) 注2

志願者との関係 父

(電話) 075-414-5835

記

志望	学校名	科名
	■ ■ 支援 学校高等部	普通 科 注3

注1 「受付番号」欄は、記入しないでください。

注2 「保護者氏名」欄は、保護者自署の場合は押印不要です。その他の場合は、保護者印を押印してください。

注3 志望先の学校名及び学科名を記入してください。

注4 修正する場合は、二重線を引いてください。(押印不要)

注5 空白の部分は斜線を引いてください。

様式2の4 記入例

京都府立特別支援学校高等部入学希望者調査書

注1 ※受付番号						注2
生徒	ふりがな 氏名	きょうと たろう 京都 太郎		保護者	ふりがな 氏名	きょうと いちろう 京都 一郎 (印)
障害の状況	主たる障害 注3 (該当するものに○)	視覚障害 聴覚障害 <u>知的障害</u> <u>肢体不自由</u> 病(虚)弱		視力・聴力 (検査の結果がある場合記入)	視力	<p>■視力・聴力結果は、学校や病院等で測定した数値を記入してください。</p> <p>なお、アルファベット表記での結果の場合は、「異常あり」や「異常なし」と記入いただいても可とします。</p> <p>■視力・聴力の結果がない場合は、「測定不能」と記入してください。</p>
	病名・障害名等 注3	病名・障害名を記入してください。			聴力	
	身体障害者手帳の有無 注4	<u>有</u> 無	1種 3級	交付年月日	平成	
	療育手帳の有無 注4	<u>有</u> 無	<u>A</u> ・B	交付年月日	令和 元年 5月 10日	
状況 注5	<p>で該当するいずれかの番号を○で囲んでください。</p>	視覚	<p>①よく見えていると思う。</p> <p>2 小学校1年の教科書程度の文字が見える。</p> <p>3 目の前で指の数がわかる。</p> <p>4 目の前の指の動きがわかる。</p> <p>5 視野がせまい。</p> <p>6 光覚がない。</p> <p>7 見えているかどうかわからない。</p>	状況の説明	<p>「状況の説明」欄は出来るだけ詳細にご記入ください。</p> <p>記入例(歩行の場合) ■車いす・歩行器・補装具・クラッチを使用 ■外出時は付き添いが必要 など</p>	
		聴覚	<p>①よく聞こえていると思う。</p> <p>2 大声で呼ぶと振り向くが小さい声では気づかない。</p> <p>3 聞こえているかどうかわからない。</p>	状況		
		言語	<p>1 普通に話せる。</p> <p>②片言で話せる。</p> <p>3 表情、身ぶりで表現する。</p> <p>4 話せない。</p>	状況		
	衣服の着脱	<p>1 自分で行える。</p> <p>②一部手伝っている。</p> <p>3 自分ではできない。</p>	状況			
	歩行	<p>1 一人で歩く。</p> <p>②介助によって歩く。</p> <p>3 自分ではできない。</p>	状況			
食事	<p>1 自分で行える。</p> <p>②一部手伝っている。</p> <p>3 自分ではできない。</p>	状況				
排せつ	<p>1 自分で行える。</p> <p>②一部手伝っている。</p> <p>3 自分ではできない。</p>	状況				

注1 「受付番号」(※欄)は、記入しないでください。

注2 保護者が記入してください。保護者自署以外の場合は、保護者印を押印してください。

注3 「主たる障害」は、該当する項目に○で囲み、障害の状態に応じ「病名・障害名等」を記入してください。

なお、重複障害の場合には、いずれにも○を付けてください。

注4 「身体障害者手帳の有無」、「療育手帳の有無」については、該当する方を○で囲み、「有」の場合には、当該手帳の種類等及び交付年月日を記入してください。

注5 「日常生活の状況」については、視覚から排せつまでの全ての項目について、それぞれ該当するいずれかの番号を○で囲むとともに、その詳細について、必要に応じ「状況の説明」欄に記入してください。なお、歩行については、車いす等の使用の詳細を記入してください。

注6 修正する場合は、二重線を引いてください。(押印不要)

注7 空白の部分は斜線を引いてください。

様式2の5 記入例

報 告 書

学歴 注2	令和6年3月31日 ○○市立△△		中学校 中学部	卒業見込み	卒業
注1	受付番号	受付学校名	ふりがな	きょうと たろう	性別
			氏名	京都 太郎	男
				平成20年 4月23日生	
総合所見及び指導上参考となる諸事項					
<p>特別活動における活動状況(学級活動、生徒会活動、学校行事等)、部活動の状況、生徒の特長、学校の内外におけるボランティア活動及び表彰を受けた行為や活動、各教科、道徳、その他学校生活全体にわたって認められる行動の状況等について顕著なものを記入してください。</p>					
校長 証明					
この報告書の記載事項に誤りのないことを証明します。					
令和 6年 1月 ×日					
学校所在地 京都市上京区下立売通新町西入敷ノ内町1番地 学校名 ○○市立△△中学校 校長氏名 平安 一郎					
記録担当者氏名 山田 太郎					
出欠の記録					
令和5年12月31日現在					
学年	1	2	3		
授業日数					
出席停止忌引き等の日数	/				
欠席日数	5	8	8		
(備考)					
年間20日以上欠席の場合、備考にその主な理由を記入すること。特に記入することがない場合は、斜線を記入すること。					
※「令和6年度府立特別支援学校高等部入学希望者における報告書の取り扱いについて」(66ページ)参照					
健康面等指導上特に配慮を要する事項					
配慮する事項があれば、記入してください。特に記入することがない場合は、斜線を記入すること。					
第3学年の学習の記録 注3					
教科	評定	教科	評定		
国語	2 (4)	外国語(英語)	2 (2)		
社会	2 (3)	「学習の記録」欄における特別支援学級及び特別支援学校に在籍する知的障害のある生徒等の「必修教科」の評定点については、次の要領により記入すること。			
数学	2 (2)	1 左側の数字は、「中学校学習指導要領」に示す目標に照らして、その実現状況を5段階の評定点により記入すること。			
理科	2 (2)	2 右側の() 書きの数字は、「特別支援学校 小学部・中学部学習指導要領」に示す中学部の目標又は生徒の発達状況を踏まえ各中学校において定める目標等を照らして、その実現状況を5段階の評定点により記入すること。			
音楽	3 (3)				
美術	3 (3)				
保健体育	4 (/)				
技術(職業)・家庭	2 (/)				
総合的な学習の時間					
学習活動	観点	時間	観点		
学習状況における顕著な事項等(生徒にどのような力が身についたか・どのような学習成果が得られたのか等)に関して記入してください。					

注1 「受付番号」及び「受付学校名」には記入しないでください。

注2 「学歴」欄は、中学校名等を記入し、卒業見込み又は卒業について該当するものを○で囲んでください。

注3 「第3学年の学習の記録」の評定中、()には、特別支援学級における評定を記入してください。

注4 修正する場合は、二重線を引いてください。(押印不要)

注5 空白の部分は斜線を引いてください。

報告書（府立盲学校・聾学校用）記入例

様式2の7

令和6年度検査

報 告 書(府立盲学校・聾学校用)

		※受付番号											
		※受付学校名		京都府立 学校									
学歴	令和 6 年 3 月 31 日			ふりがな		きょうと たろう				性別			
	○○市立△△ 中学校			氏名		京都 太郎				男			
	卒業					平成 20 年 12 月 30 日生							
学習の記録	必修教科		国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	英語		
	1年	評定	5	5	5	5	4	4	3	5	5		
	2年	評定	3	2	3	4	5	4	3	2	3		
	3年	評定	3	4	5	4	3	4	3	5	5		
		観点別学習状況	I	指導要録に記載された観点ごとにA・B・Cの記号を記入すること。									
			II	「学習活動」及び「評価の観点」を踏まえ、生徒の3年間の学習状況における顕著な事項等（生徒にどのような力が身についたか・どのような学習成果が得られたのか等）に関して、具体的に文章で記入すること。									
	III												
総合的な学習の時間							総合所見						
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 特別活動（学級活動・生徒会活動等）、部活動の状況、生徒の特技（取得資格等）、学校内外におけるボランティア活動、表彰を受けた行為や活動、各教科、道徳、その他学校生活全体に認められる行動の状況等について、3年間を通して顕著なものを簡潔に記入すること。 </div>							<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ※令和6年度府立特別支援学校高等部入学希望者における報告書の取り扱いについて（66ページ）参照 </div>						
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ※令和6年度府立特別支援学校高等部入学希望者における報告書の取り扱いについて（66ページ）参照 </div>													
出欠の記録	学年	授業日数	欠席日数	備考									
	1年	/	20	体育授業中骨折し、入院									
	2年	/	5										
	3年	/	4										
(注) 年間20日以上欠席の場合、備考にその主な理由を記入すること。													
校長証明													
この報告書の記載事項に誤りのないことを証明します。													
						令和 6 年 1 月 × 日							
学 校 名		○○市立△△中学校				校△○ 長△○ 之○市 印学立		(電話)		123-456-7890			
校 長 氏 名		平安 三郎						記録担当者氏名		山田 太郎			

- 注1 令和5年12月31日現在の記録を記入してください。
- 2 「総合的な学習の時間」欄は、生徒の3年間の学習状況における顕著な事項等（生徒にどのような力が身についたか・どのような学習成果が得られたのか等）に関して記入してください。
- 3 「総合所見」欄は、3年間の特別活動における活動状況（学級活動、生徒会活動、学校行事等）、部活動の状況、生徒の特技、学校の内外におけるボランティア活動及び表彰を受けた行為や活動、各教科、道徳、その他学校生活全体にわたって認められる行動の状況等について顕著なものを原則として箇条書きで記入してください。
- 4 空白の場合は斜線を引いてください。

報告書(府立盲学校・聾学校用)
(令和3年3月以前卒業生用)

		※受付番号										
		※受付学校名		京都府立 学校								
学歴	令和 3 年 3 月 31 日			ふりがな	きょうと たろう	性別						
	卒業見込み 〇〇市立△△ 中学校			氏名	京都 太郎	男						
		平成 17 年 12 月 30 日生										
学習の記録	必修教科	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	技術・ 家庭	英語		
	1年	評定	5	5	5	5	4	4	3	5	5	
	2年	評定	3	2	3	4	5	4	3	2	3	
	3年	評定	3	4	5	4	3	4	3	5	5	
		観点別 学習状況	I	指導要録に記載された観点ごとにA・B・Cの記号を記入すること。								
			II									
			III	「学習活動」及び「評価の観点」を踏まえ、生徒の3年間の学習状況における顕著な事項等（生徒にどのような力が身についたか・どのような学習成果が得られたのか等）に関して、具体的に文章で記入すること。								
IV												
V												
総合的な学習の時間						総合所見						
						特別活動（学級活動・生徒会活動等）、部活動の状況、生徒の特技（取得資格等）、学校内外におけるボランティア活動、表彰を受けた行為や活動、各教科、道徳、その他学校生活全体に認められる行動の状況等について、3年間を通して顕著なものを簡潔に記入すること。						
出欠の記録	学年	授業日数	欠席日数	備考								
	1年	/	20	体育授業中骨折し、入院								
	2年	/	5									
	3年	/	4									
(注) 年間20日以上欠席の場合、備考にその主な理由を記入すること。												
校長証明						※「令和6年度府立特別支援学校高等部入学希望者における報告書の取り扱いについて」（66ページ）参照						
この報告書の記載事項に誤りのないことを証明します。												
学 校 名 〇〇市立△△中学校						令和 6 年 1 月 X 日						
校 長 氏 名 平安 三郎						(電話) 123-456-7890						
校 長 印						記録担当者氏名 山田 太郎						

注1 「総合的な学習の時間」欄は、生徒の3年間の学習状況における顕著な事項等（生徒にどのような力が身についたか・どのような学習成果が得られたのか等）に関して記入してください。
 注2 「総合所見」欄は、3年間の特別活動における活動状況（学級活動、生徒会活動、学校行事等）、部活動の状況、生徒の特技、学校の内外におけるボランティア活動及び表彰を受けた行為や活動、各教科、道徳、その他学校生活全体にわたって認められる行動の状況等について顕著なものを原則として簡条書きで記入してください。
 注3 空白の場合は、斜線を引いてください。

報告書（府立盲学校・聾学校用）「学習の記録」欄の記入について

「学習の記録」欄における特別支援学級及び特別支援学校に在籍する知的障害のある生徒等の「必修教科」の評定点については、次の要領により記入すること。

- 1 左側の数字は、「中学校学習指導要領」に示す目標に照らして、その実現状況を5段階の評定点により記入すること。
- 2 右側の（ ）書きの数字は、「特別支援学校 小学部・中学部学習指導要領」に示す中学部の目標又は生徒の発達状況を踏まえ各中学校において定める目標等に照らして、その実現状況を5段階の評定点により記入すること。

報告書（府立盲学校・聾学校用）（様式2の7）の抜粋

		必修教科		国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	技術・ 家庭	英語
		1年	評定	2(3)	2(3)	2(3)	2(3)	3(4)	2(2)	4(5)	2(4)	1(2)
学習 の 記 録	2年	評定	1(2)	2(3)	2(3)	1(2)	3(4)	2(2)	4(5)	3(3)	1(2)	
	3年	評定	2(3)	2(3)	2(3)	2(3)	3(4)	2(2)	4(5)	2(4)	1(2)	
		観 点 別 学 習 状 況	I									
			II									
III												

指導要録に記載された観点ごとに
A・B・Cの記号を記入すること

様式3の1 記入例

入学願書(高等部 職業学科)

市町(組合)教育委員会
受付印

注 1	受付 番号	高	
--------	----------	---	--

在学(出身) 中学校名 特別支援学校名	〇〇市立△△中学校
志願者住所	(〒602-8570) 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町1番地
ふりがな	きょうと たろう
志願者氏名	京都 太郎 平成20年4月23日生

上記の者は、下記のとおり入学を志望しますので、出願します。

京都府立 ■■ 支援学校長 様

令和6年1月×日

↑
第1志望の支援学校名を
記入すること。

(〒 -)

保護者住所 志願者と同じ

ふりがな きょうと いちろう
保護者氏名 京都 一郎 (印) 注2

志願者との関係 父

(電話) 075-414-5835

記

希望順位	第1志望	第2志望	第3志望
学校名	支援学校	支援学校	支援学校
学科名	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 様式3の1 志願例及び記入例参照 </div>		
	総合科		

注1 「受付番号」欄は、記入しないでください。

注2 「保護者氏名」欄は、保護者自署の場合は押印不要です。その他の場合は、保護者印を押印してください。

注3 修正する場合は、二重線を引いてください。(押印不要)

注4 空白の部分は斜線を引いてください。

様式3の1 志願例及び記入例

例1

- 第1志望 A支援学校〇〇総合科
第2志望 B支援学校□□総合科
第3志望 住所の存する通学区域にある特別支援学校高等部普通科
 (例ではC支援学校)

	希望順位	第1志望	第2志望	第3志望
志望	学校名	A 支援学校	B 支援学校	C 支援学校
	学科名	〇〇総合科	□□総合科	普通科

例2

- 第1志望 A支援学校〇〇総合科
第2志望 住所の存する通学区域にある特別支援学校高等部普通科
 (例ではB支援学校)
第3志望 なし

	希望順位	第1志望	第2志望	第3志望
志望	学校名	A 支援学校	B 支援学校	支援学校
	学科名	〇〇総合科	普通科	

※斜線で抹消すること。

例3

- 第1志望 A支援学〇〇総合科
第2志望 志望なし
第3志望 志望なし

	希望順位	第1志望	第2志望	第3志望
志望	学校名	A 支援学校	支援学校	支援学校
	学科名	〇〇総合科		

※斜線で抹消すること。 ※斜線で抹消すること。

注意

次の様な志望はできません。

- 第1志望 A支援学校〇〇総合科
第2志望 住所の存する通学区域にある特別支援学校高等部普通科
 (例ではC支援学校)
第3志望 B支援学校□□総合科

	希望順位	第1志望	第2志望	第3志望
志望	学校名	A 支援学校	C 支援学校	B 支援学校
	学科名	〇〇総合科	普通科	□□総合科

様式3の4 記入例

京都府立特別支援学校高等部入学希望者調査書（職業学科）

注1 ※受付番号						注2
生徒	ふりがな 氏名	きょうと たろう 京都 太郎		保護者	ふりがな 氏名	きょうと いちろう 京都 一郎 (印)
障害の状況	主たる障害 注3 (該当するものに○)	視覚障害 <u>知的障害</u> 病(虚)弱	聴覚障害 肢体不自由	視力・聴力 (検査の結果がある場合記入)	視力	<p>■視力・聴力結果は、園・学校や病院等で測定した数値を記入してください。 なお、アルファベット表記での結果の場合は、「異常あり」や「異常なし」と記入いただいても可とします。 ■視力・聴力の結果がない場合は、「測定不能」と記入してください。</p>
	病名・障害名等 注3	病名・障害名を記入してください。			聴力	
	身体障害者手帳の有無 注4	有 <u>無</u>	種 級	交付年月日		
	療育手帳の有無 注4	<u>有</u> 無	A <u>B</u>	交付年月日 令和 元年 5 月 10 日		
日常生活の状況 注5	生活の状況	<p>各項目について、「状況の説明」を出来るだけ詳細に記入してください。 「その他」の項目については、学校生活等において、特に配慮が必要な事項がありましたら記入してください。</p>				
	学習の状況					
	通学の状況					
	その他					
	状況の説明	※学校生活を送る				

注1 「受付番号」(※欄)は、記入しないでください。

注2 保護者が記入してください。保護者自署以外の場合は、保護者印を押印してください。

注3 「主たる障害」は、該当する項目に○で囲み、障害の状態に応じ「病名・障害名等」を記入してください。
 なお、重複障害の場合には、いずれにも○を付けてください。

注4 「身体障害者手帳の有無」、「療育手帳の有無」については、該当する方を○で囲み、「有」の場合には、当該手帳の種別等及び交付年月日を記入してください。

注5 「日常生活の状況」については、各項目について、「状況の説明」を出来るだけ詳細に記入してください。
 「その他」の項目については、学校生活等において、特に配慮が必要な事項がありましたら記入してください。

注6 修正する場合は、二重線を引いてください。(押印不要)

注7 空白の部分は斜線を引いてください。

様式3の5 記入例

報 告 書 (高等部職業学科)

学歴 注2	令和6年3月31日	〇〇市立△△	中学校 中学部	卒業見込み	注1 受付番号 受付学校名	きょうと たらろ 京都 太郎 平成20年4月23日生	性別 男
第3学年の学習の記録		出欠の記録		総合所見及び指導上参考となる諸事項			
教科	評定	教科	評定	学年	1	2	3
国語	2 (4)	外国語 (英語)	2 (2)	授業日数	/		
社会	2 (3)	「学習の記録」欄における特別支援学級及び特別支援学校に在籍する知的障害のある生徒等の「必修教科」の評定点については、次の要領により記入すること。					
数学	2 (2)	1 左側の数字は、「中学校学習指導要領」に示す目標に照らし、その実現状況を5段階の評定点により記入すること。		出席停止忌引き等の日数	8		
理科	2 (2)	2 右側の()書きの数字は、「特別支援学校 小学部・中学部学習指導要領」に示す中学部の目標又は生徒の発達状況を踏まえ各中学校において定める目標等を照らして、その実現状況を5段階の評定点により記入すること。		欠席日数 (備考)	5 8		
音楽	3 (3)	学習状況における顕著な事項等(生徒にどのような力が身についたか・どのような学習成果が得られたのか等)に関して記入してください。		年間20日以上欠席の場合、備考にその主な理由を記入すること。 特に記入することがない場合は、斜線を記入すること。			
美術	3 (3)	総合的な学習の時間		健康面等指導上特に配慮を要する事項			
保健体育	4 (/)	学習活動		配慮する事項があれば、記入してください。			
技術(職業)・家庭	2 (/)	観点		この報告書の記載事項に誤りのないことを証明します。 令和6年1月×日 学校所在地 京都市上京区下立売通新町西入敷ノ内町1番地 学校名 〇〇市立△△中学校 校長氏名 平安 一郎			
記録担当者氏名		山田 太郎					

注1 「受付番号」及び「受付学校名」には記入しないでください。
 注2 「学歴」欄は、中学校名等を記入し、卒業見込み又は卒業については該当するものを○で囲んでください。
 注3 修正する場合は、二重線を引いてください。(押印不要)
 注4 空白の部分は斜線を引いてください。

様式3の6 記入例

報 告 書 (高等部職業学科)

学歴 注2	令和6年3月31日	中学校 A支援学校 中学部	卒業見込み	注1 受付番号 受付学校名 ふりがな 氏名 きょうと たらう 京都 太郎 平成20年4月23日生	性別 男																
教科	総合所見及び指導上参考となる諸事項																				
国語	健康面等指導上特に配慮を要する事項																				
社会	配慮する事項があれば、記入してください。																				
数学	この報告書の記載事項に誤りのないことを証明します。																				
理科	校 長 証 明																				
音楽	令和5年12月×日																				
美術	学校所在地 京都市上京区下立売通新町西入藏ノ内町1番地																				
保健体育	学校名 ○○支援学校																				
技術(職業)・家庭	校長氏名 平安 一郎																				
外国語	校 長 証 明																				
特別活動	記録担当者氏名 山田 太郎																				
自立活動	記録担当者氏名 山田 太郎																				
学習活動	<p>総合的な学習の時間の記録(第3学年)</p> <table border="1"> <tr> <td>学年</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>授業日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出席停止(忌引き等)の日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>欠席日数</td> <td>5</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> </table> <p>出欠の記録 令和5年12月31日現在</p> <p>※「令和6年度府立特別支援学校高等部入学希望者における報告書の取り扱いについて」(66ページ)参照</p> <p>年間20日以上欠席の場合、備考にその主な理由を記入すること。</p>					学年	1	2	3	授業日数				出席停止(忌引き等)の日数				欠席日数	5	8	8
学年	1	2	3																		
授業日数																					
出席停止(忌引き等)の日数																					
欠席日数	5	8	8																		

注1 「受付番号」及び「受付学校名」には記入しないください。

注2 「学歴」欄は、中学校名等を記入し、卒業見込み又は卒業について該当するものを○で囲んでください。

注3 修正する場合は、二重線を引いてください。(押印不要)

注4 空白の部分は斜線を引いてください。

様式3の7 記入例

報 告 書 (高等部職業学科)

学 歴 注2	令和 6 年 3 月 31日	中学校 A支援学校 中学部	卒業見込み	卒業	注1 受付番号 受付学校名	きよと たろう 京都 太郎 平成20年 4月23日生	性別 男
	第3学年の学習の記録		総合所見及び指導上参考となる諸事項				
教科等	(記入してください。)	特別活動における活動状況(学級活動、生徒会活動、学校行事等)、部活動の状況、生徒の特技、学校の内外におけるボランティア活動及び表彰を受けた行為や活動、各教科、道徳、その他学校生活全体にわたって認められる行動の状況等について顕著なものを記入してください。					
		健康面等指導上特に配慮を要する事項					
		配慮する事項があれば、記入してください。					
		校長 証明					
学習活動	評 価	令和 5年 12月 ×日					
学習状況における顕著な事項等(生徒にどのような力が身についたか・どのような学習成果が得られたのか等)に関して記入してください。	学 年	1	2	3	学校所在地 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町1番地		
	授業日数				学校名 ○○支援学校		
年間20日以上欠席の場合、備考にその主な理由を記入すること。	出席停止忌引き等の日数	5	8	8	校長氏名 平安 一郎		
					学 校 印 学 校 長 之 印		
		記録担当者氏名 山田 太郎					

注1 「受付番号」及び「受付学校名」には記入しないでください。

注2 「学歴」欄は、中学校名等を記入し、卒業見込み又は卒業については該当するものを○で囲んでください。

注3 修正する場合は、二重線を引いてください。(押印不要)

注4 空白の部分は斜線を引いてください。

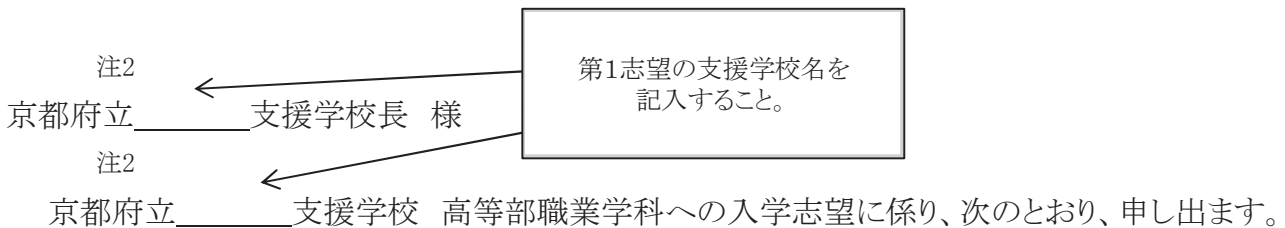
様式3の8 記入例

療育手帳取得に係る確認書（高等部職業学科）

注1 ※受付番号			(保護者が記入してください。)
志願者	ふりがな	きょうと たろう	
	氏名	京都 太郎	

この確認書は、現在は療育手帳を所有していない、かつ医師が作成する診断書を所持していない者のみ、記入して提出してください。

※現在、療育手帳を所持している、または医師が作成する診断書を所持している者については、その写しを提出してください。



注3

今後、療育手帳を取得する意思があります。

どちらかにチェックすること。

現在、療育手帳取得の申請中です。

注1 受付番号欄は記入しないでください。

注2 志望する学校名を記入してください。

注3 選択する項目にをしてください。

在学中学校・特別支援学校名 ○○市立△△中学校

志願者氏名 京都 太郎

保護者氏名 京都 一郎 印

注 保護者自署の場合は押印は不要です。

その他の場合については、保護者印を押印してください。

令和6年度府立特別支援学校高等部入学希望者における報告書の取り扱いについて

令和6年度の府立特別支援学校高等部入学希望者における報告書の取扱いについては、出欠の記録に関する記載事項のうち「出席停止・忌引き等の日数」は記載せず斜線をいれること。「出席停止・忌引き等の日数」が推測できる「授業日数」も同様に記載せず斜線を入れること。また、「備考欄」のある報告書を実態に沿って使用することから、オンラインを活用した特例の授業の参加日数については、記載の必要はなしとすること。ただし、報告書の作成に係るシステム改修を必要とする場合や、新たな報告書の作成、発行に相当の負担が生じるなど、それが困難な場合には従前の方法による報告書を提出することもやむを得ないこと。

<参考>

出欠の記録			
令和5年12月31日現在			
学年	1	2	3
授業日数	斜線を入れる		
出席停止忌引き等の日数			
欠席日数	欠席日数を記入する		
(備考)			

オンラインを活用した特例の授業の参加日数については、記載しない

特別事情具申手續

特別事情具申手続について

1 特別事情について

次のいずれかに該当する場合は、特別事情具申の手続が必要です。

- (1) 親権者、成年後見人又は未成年後見人以外の者が、成年後見人又は未成年後見人に準じる者として保護者となるため届出を要する場合
- (2) 転居等により、住所の届出を要する場合
- (3) 調整地域から入学志願するため許可申請をする場合
- (4) 府外居住者が入学志願するため許可申請をする場合

2 書類の提出期限

- (1) 盲学校及び聾学校へ志願する場合
令和5年12月27日（水）必着
- (2) 特別支援学校（盲学校及び聾学校を除く。）へ志願する場合
令和5年12月27日（水）必着
- (3) 特別支援学校高等部職業学科へ志願する場合
令和5年12月27日（水）必着

3 提出先

京都府教育庁指導部特別支援教育課

（〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町 京都府庁 第3号館4階）

4 手続の流れ

	＜保護者＞	備 考
① 書類 準備	各種届・申請書に必要事項を記入 添付書類の整備	74ページ以下の様式をコピーするか、京都府教育庁指導部特別支援教育課のホームページに掲載している様式を印刷して使用すること。
② 手続	<p>＜特別事情具申手続＞</p> <p>1 保護者の住所の存する都道府県教育委員会（政令指定都市にあつては、当該市教育委員会とし、京都府内においては、住所の存する市町（組合）教育委員会とする。2において同じ。）を経由して京都府教育委員会教育長へ提出するものとする。</p> <p>2 住所の存する都道府県教育委員会は、京都府立特別支援学校入学志願について（依頼）（第1号様式の1）に、それぞれ書類を添えて、京都府教育庁指導部特別支援教育課へ提出するものとする。</p>	京都府立盲学校高等部保健医療科、音楽科及び専攻科を志願する者で、私立及び国立の高等学校及び高等部を卒業した場合は、京都府立特別支援学校入学志願について（依頼）（第1号様式の2）に、それぞれ書類を添えて、各校から京都府教育庁指導部特別支援教育課へ提出するものとする。
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>＜教育委員会等＞ ※受理又は許可をする場合には、受理書又は入学志願許可書を郵送</p> </div>		
③ 受領	受理書又は入学志願許可書を受領 願書提出	受領後、受理書又は入学志願許可書を願書に添付すること。

事 情	<p>1 親権者、成年後見人又は未成年後見人以外の者が、成年後見人又は未成年後見人に準じる者として保護者となるため届出を要する場合</p> <p>(1) おじ、おば、祖父母等が保護者となる場合 (2) 他家の養子となった子について、実親が保護者となる場合 (3) 養子縁組届が審査中であって、養親になろうとする者が保護者となる場合 (4) 認知の父が保護者となる場合 (5) 離婚の際に親権者とならなかった方の父又は母が保護者となる場合 (6) 師僧（華道等の家元を含む。）が保護者となる場合</p>	
手 続	提出書類	<p>○京都府立特別支援学校入学志願について 第1号様式の1(74ページ) ○京都府立特別支援学校入学志願者の保護者届 第2号様式(76ページ)</p> <p>(添付書類)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者となる者と志願者の続柄が確認できる資料（例えば、住民票記載事項証明書（続柄の記載があること。）等） ・返信用封筒（長形3号封筒・志願者及び保護者の住所及び氏名を記入し、84円切手を貼ったもの） ・親権者、成年後見人又は未成年後見人がある場合はその同意書（様式例72ページ）（上記1(2)の場合は不要）
	提出先	京都府教育委員会教育長

注

- 1 親が単身赴任している場合で、本人と府内で同居しているもう一方の親（親権者）を保護者として出願するときは、この手続は不要。
- 2 父母が離婚し、保護者（親権者）が、復氏により志願者と姓が異なる場合は、その旨を記した中学校長の副申書（77ページ）を入学願書に添付することをもって足り、この手続は不要。
- 3 上表(1)～(5)に該当する場合でも、中学校在学中（少なくとも第2学年修了後の期間）保護者であった者が、特別支援学校高等部入学後も引き続き保護者となるときは、その事情を記した中学校長の副申書（77ページ）を入学願書に添付することをもって足り、この手続は不要。
- 4 成年後見人及び未成年後見人に準じる者の範囲は、志願者の在学期間中監護及び教育を行うについて正当な理由がある者に限られる。
- 5 児童相談所を通じて施設に入所している志願者等について当該施設の長や里親等が保護者となる場合、この手続は不要だが、願書に保護者が施設の長や里親等であることが分かるように記載すること。
- 6 施設に入所している志願者等が、措置解除等により親権者のもとに戻る場合の手続きについては、特別事情具申2（71ページ）を参照すること。

事 情	2 転居等により、住所の届出を要する場合	
	(1) 保護者の住所が入学日までに府の区域内に変更する者 ア 他の都道府県から府内へ イ 外国から府内へ (2) 保護者の住所が、入学日までに府の区域内において変更する者のうち当該学科等の通学区域を越えて住所を変更する場合	
手 続	提出書類	<p>○京都府立特別支援学校入学志願について 第1号様式の1(74ページ)</p> <p>○京都府立特別支援学校入学志願者の住所に関する届 第3号様式(80ページ)</p> <p>(添付書類)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・転居先住所又は生活の本拠を確認できる資料(資料例は以下のとおり) 持家への転居：家屋に係る固定資産税納入通知書及び明細書・家屋評価証明書等の写し 等 家屋を新築又は購入し転居：家屋に係る売買契約書の写し 等 借家・社宅等への転居：賃貸契約書の写し、社宅の入居証明書 等 ・返信用封筒(長形3号封筒・志願者及び保護者の住所及び氏名を記入し、84円切手を貼ったもの)
	提出先	京都府教育委員会教育長

注

- 1 願書提出時において既に転居しているが、許可を受けて通学区域外の中学校に引き続き就学している場合は、この手続は不要だが、区域外就学に係る許可証等の写しを入学願書に添付すること。
- 2 保護者の住所は府内にあるが、保護者の元を離れて通学区域外又は他府県に所在する私立中学校等に就学している場合は、この手続は不要だが、その旨を記した中学校長の副申書(82ページ)を入学願書に添付すること。
- 3 親が単身赴任等で府内に住居を有し、志願者は家族の他の者とともに中学校卒業後この住居へ転居する場合及び施設に入所している志願者等が、措置解除等により親権者のもとに戻る場合の手続きについては、特別事情具申手続は不要だが、事前に住所確認手続を行うこと。手続にあたっては、副申書(82ページ)を作成し、府内の住所が確認できる資料(特別事情具申手続に必要な上記添付書類に準じる。)とともに特別事情具申手続期間中に京都府教育委員会へ郵送し、あらかじめ住所の確認を得ること。住所確認を得た副申書は入学願書に添付すること。
- 4 過年度卒業者で、学校卒業後転居した場合は、事前に住所確認手続を行うこと。手続にあたって副申書(82ページ)を作成し、府内の住所が確認できる資料(特別事情具申手続に必要な上記添付書類に準じる。)とともに特別事情具申手続期間中に京都府教育委員会へ郵送し、あらかじめ住所の確認を得ること。住所確認を得た副申書は入学願書に添付すること。
- 5 転居先住所又は生活の本拠を確認できる資料において、家屋の所有者・契約者等が保護者と異なる場合(例えば、保護者の実家に転居する場合で保護者の父母等が家屋の所有者であるとき)は、原則として、所有者・契約者等の同意書(様式例83ページ)が必要であること。また、家屋の所有者が複数名いる場合は、家屋の所有者全員の同意書(様式例83ページ)が必要であること。
- 6 保護者の生活の本拠が住民基本台帳に記載された住所と異なる場合は、この手続は不要だが、区域外就学に係る許可証の写し又は中学校長の副申書を入学願書に添付すること。

事情	3 調整地域から入学志願するため許可申請を要する場合 調整地域（21ページ）から八幡支援学校、井手やまぶき支援学校及び丹波支援学校高等部普通科を志願する場合 ※21ページ 注2③、注3に該当する場合	
手続	提出書類	○京都府立特別支援学校入学志願について 第1号様式の1(74ページ) ○京都府立特別支援学校入学志願許可申請書 第4号様式(85ページ) (添付書類) 返信用封筒（長形3号封筒・志願者及び保護者の住所及び氏名を記入し、84円切手を貼ったもの）
	提出先	京都府教育委員会教育長

事情	4 府外居住者が入学志願するため許可申請を要する場合 盲学校高等部保健理療科、音楽科及び専攻科 聾学校高等部京都アート科及び情報科	
	手続	○京都府立特別支援学校入学志願について 第1号様式の1(74ページ) ○京都府立特別支援学校入学志願許可申請書 第4号様式(85ページ) (添付書類) 返信用封筒(長形3号封筒・志願者及び保護者の住所及び氏名を記入し、84円切手を貼ったもの)
提出先		京都府教育委員会教育長

注1 京都府立盲学校高等部専攻科を志願する者で、私立及び国立の高等学校及び高等部を卒業した場合は、第1号様式の2(75ページ)を作成すること。

注2 中途障害により、出身中学校や住所の存する都道府県教育委員会が、学校教育法施行令(昭和28年政令第340号)第22条の3に規定する程度の障害を確認できない場合は、証明する眼科診断書(国立病院、大学病院、地域医療支援病院の眼科医に記入を依頼)を添付すること。

第1号様式の1

番 号
令和 年 月 日

京都府教育委員会教育長 様

教育委員会教育長

印

京都府立特別支援学校入学志願について(依頼)

注1

下記の生徒が、京都府立 学校 部 科への入学を希望して
いますので、出願が許可されるようお願いいたします。

記

志願者	氏 名	
	現 住 所	
	入学後の住所(予定)	
	在学(出身)学校名	
保護者	氏 名	
	現 住 所	
	入学後の住所(予定)	
出願の理由		

注1 志願先の学校名、部及び学科名を記入すること。

第1号様式の2

番 号
令 和 年 月 日

京都府教育委員会教育長 様

学校長

印

京都府立特別支援学校入学志願について(依頼)

注1

下記の生徒が、京都府立 学校 部 科への入学を希望して
いますので、出願が許可されるようお願いいたします。

記

志願者	氏 名	
	現 住 所	
	入学後の住所(予定)	
	在学(出身)学校名	
保護者	氏 名	
	現 住 所	
	入学後の住所(予定)	
出願の理由		

注1 志願先の学校名、部及び学科名を記入すること。

年 月 日

京都府教育委員会教育長 様

保護者となる者の氏名 _____ ㊟

就学希望者の氏名 _____

在学(出身)中学校名 _____

注 「保護者となる者の氏名」欄について、保護者となる者が自署
の場合は押印不要です。
その他の場合については、保護者印を押印してください。

京都府立特別支援学校入学志願者の保護者届

私は、令和6年度京都府立特別支援学校幼稚部・高等部等入学希望者募集要項3志願者の資格により、保護者(就学希望者の成年後見人又は未成年後見人に準ずる者)となるので届け出ます。

記

1 就学希望者の住所

2 保護者となる者の住所

3 連絡先

4 就学希望者との関係及び届出の理由 _____
電話 () _____

5 志望特別支援学校

学校名	学部・学科名

副 申 書

(特別支援学校入学志願者の保護者届用)

就学希望者の氏名 _____

在学(出身)中学校名 _____

具体的な事情等を記入してください。

京都府内の保護者となる者の住所及び氏名

住所 _____

_____ (電話)

氏名 _____

上記のとおり副申します。

年 月 日

在学中学校担任氏名 _____

在学中学校長氏名 _____ 印

注1 特別支援学校入学志願者の保護者届(第2号様式)を提出する際にこの副申書を添付してください。

2 「在学中学校担任氏名」及び「在学中学校長氏名」欄は就学希望者が中学校を既に卒業している場合は記入不要です。

(様式例)

同意書

私、(親権者等) は、(保護者となる者) が、

(志願者) の特別支援学校入学後の保護者となることに同意します。

年 月 日

保護者となる者の住所

保護者となる者の氏名

親権者等住所

親権者等氏名

㊞

(様式例)

京都府立特別支援学校入学志願許可書

志願者氏名

保護者氏名

下記のとおり、令和6年度京都府立
入学志願を許可します。

学校高等部

科

令和 年 月 日

京都府教育委員会
教育長 前川 明範

記

番 号		出願先の学部・学科名	
志願者	住所		
保護者	住所		
保護者氏名		志願者と保護者との関係	
特別の事情			

注1 もし、事実に相違がある場合は、入学を取り消します。

注2 入学願書に添えて本許可書を出願先学校長に提出してください。

年 月 日

京都府教育委員会教育長 様

保護者氏名 _____ 印

志願者氏名 _____

志願者と保護者との関係 _____

在学(出身)中学校名 _____

注 「保護者氏名」欄について、保護者自署の場合は押印不要です。
その他の場合については、保護者印を押印してください。

京都府立特別支援学校入学志願者の住所に関する届

私は、京都府立特別支援学校 に入学を志願するに当たっては、住所を下記のとおりとしますので届け出ます。

記

1 届出の理由

- (1) 転居（ 府内の転居、 他の都道府県から府内への転居、 外国から府内への転居）
- (2) 保護者の生活の本拠が住民基本台帳に記載された住所と異なる。

説明（転居する者、転居日など詳しく記入してください。）

2 届け出る住所（1の(1)の場合は転居先住所、1の(2)の場合は生活の本拠の所在地）

保護者： _____
 志願者： _____

3 現住所等（1の(1)の場合は転居前住所、1の(2)の場合は住民基本台帳に記載された住所）

保護者： _____ 電話 _____（ _____ ）
 志願者： _____

4 志望学校

学 校 名	学 部 ・ 学 科 等

証 明 書

上記の事情に相違ないことを証明します。

上記の事情に相違なく、（ _____ ）都道府県 公立学校に入学を志願しないことを証明します。

年 月 日

在学（出身）中学校長氏名 _____ 印

在学（出身）中学校所在地 _____

電話 _____（ _____ ）

特別事情具申記入例

第3号様式

令和6年1月×日

京都府教育委員会教育長 様

保護者氏名 奈良 一郎 ㊟
 志願者氏名 奈良 学
 志願者と保護者との関係 父
 在学(出身)中学校名 奈良市立△△中学校

注 「保護者氏名」欄について、保護者自署の場合は押印不要です。その他の場合については、保護者印を押印してください。

特別支援学校入学志願者の住所に関する届

私は、京都府立特別支援学校に入学を志願するに当たっては、住所を下記のとおりとしますので届け出ます。

該当個所に「レ」を記入する。 記

1 届出の理由

- (1) 転居 (府内の転居、 他の都道府県から府内への転居、 外国から府内への転居)
- (2) 保護者の生活の本拠が住民基本台帳に記載された住所と異なる。

いつ、どこに、誰と、転居するのかを記入する。

説明 (転居する者、転居日など詳しく記入してください。)

現在、奈良市内に居住していますが、父親の転勤に伴い、3月下旬に亀岡市内の賃貸物件に一家で転居する予定です。

2 届け出る住所 (1の(1)の場合は転居先住所、1の(2)の場合は生活の本拠の所在地)

保護者: 亀岡市△△町××番地

志願者: 保護者に同じ

賃貸物件や借家等の契約書等に志願者の名前が記載されていない場合は同意書(83ページ)を貸主に作成してもらうこと。

3 現住所等 (1の(1)の場合は転居前住所、1の(2)の場合は住民基本台帳に記載された住所)

保護者: 奈良市△△町××番地

電話 0742 (××) ××××

志願者: 保護者に同じ

学 校 名	学 部 ・ 学 科 等
■ ■ 支援学校	高等部普通科

証 明 書

該当個所に「レ」を記入する。

上記の事情に相違ないことを証明します。

上記の事情に相違なく、(奈良)都道府県 公立特別支援学校に入学を志願しないことを証明します。

令和6年1月×日

奈良市立△△中学校

校長 平城 步 印

在学(出身)学校長氏名

在学(出身)学校所在地

奈良市△△町□□番地

電話 0742 (〇〇) 〇〇〇〇

他府県から府内への転居の場合は、下段の口にレを記入し、()の中に保護者が現在居住している都道府県を記入すること。

副 申 書
(住所確認・過年度卒業者の転居用)

就学希望者の氏名

在学(出身)中学校名

具体的な事情等を記入してください。

京都府内の保護者住所及び氏名

住所 _____ (電話) _____

氏名 _____

上記のとおり副申します。

年 月 日

在学中学校担任氏名 _____

在学中学校長氏名 _____

印

証 明 書

上記の事情に相違なく、() 都道
府県 公立学校に入学を志願しないことを証明します。

在学(出身)中学校長氏名 _____

印

上記のとおり確認します。

年 月 日

京都府教育庁指導部特別支援教育課長

印

- 注1 保護者のみが単身赴任等により京都府内に住居を有し、中学校卒業後志願者がこの住居へ転居する場合はこの副申書を使用してください。この場合、**特別事情具申の期間中に京都府教育委員会まで府内の住所を確認できる資料を併せて郵送提出し、確認を受けてください。**
- 2 過年度卒業で中学校卒業後に転居した場合、この副申書を使用してください。この場合、**特別事情具申の期間中に京都府教育委員会まで府内の住所を確認できる資料を併せて郵送提出し、確認を受けてください。**(中学校長の副申欄の記入は不要です。)
- 3 「証明書」欄について、京都府内の中学校を卒業(見込)の者は不要です。

(様式例)

同意書

下記の者が、私の所有する住居に居住することに同意します。

年 月 日

所有者（又は契約者）住所

所有者（又は契約者）氏名

⑩

記

1 住居の所在地

2 居住開始年月日

年 月 日

3 居住する者の氏名

氏 名	所有者からみた関係

(様式例)

受 理 書

志願者氏名

保護者氏名

上記の者の令和6年度京都府立特別支援学校入学志願に当たって、特別支援学校入学志願者の（保護者届・住所に関する届）を受理したので証明します。

令和 年 月 日

京都府教育委員会
教育長 前川 明範

記

番 号		出願先の学校名 学部・学科名	
志願者の	新(転居後) 住所		
	現住所		
保護者の	新(転居後) 住所		
	現住所		
保護者氏名			志願者と保護者との関係
特別の事情			

注1 もし、事実に相違がある場合は、入学を取り消します。

注2 入学願書に添えて本許可書を出願先学校長に提出してください。

京都府立特別支援学校入学志願許可申請書

在学(出身)学校名 _____

志願者氏名 _____

志願者生年月日 _____ 年 月 日

保護者氏名 _____ ㊟ 注1

注2

下記のとおり、京都府立 _____ 学校 _____ 部 _____ 科に出願したいので、事情審査の上、許可されますよう申請します。

年 月 日

京都府教育委員会教育長 様

記

志願者	現住所	
	入学後の住所(予定)	
保護者	現住所	
	入学後の住所(予定)	
	緊急連絡先(電話番号)	
出願の理由		

注1 「保護者氏名」欄は、保護者自署の場合は押印不要です。
その他の場合については、保護者印を押印してください。

注2 志願先の学校名、部及び学科名を記入してください。

注3 第4号様式(表)及び第4号様式(裏)は、両面刷りしてください。

第4号様式(裏)

在学(出身)学校長の証明

申し出の事情に相違なく、やむを得ないものと考えられますので、次のとおり副申します。

令和 年 月 日

学校名
校長名

印

校長所見

(様式例)

京都府立特別支援学校入学志願許可書

志願者氏名

保護者氏名

下記のとおり、令和6年度京都府立
入学志願を許可します。

学校高等部

科

令和 年 月 日

京都府教育委員会
教育長 前川 明範

記

番 号		出願先の学部・学科名	
志 願 者	住 所		
	入学後の住所		
保 護 者	住 所		
	入学後の住所		
保護者氏名		志願者と保護者との関係	
特別の事情			

注1 もし、事実に相違がある場合は、入学を取り消します。

注2 入学願書に添えて本許可書を出願先学校長に提出してください。

幼稚部・高等部等入学希望者募集関係様式の規格等

様式番号	様式名	様式の規格			ホームページ掲載
		サイズ	紙質	厚さ(重さ)	
様式1の1	入学願書(幼稚部)	A4(縦長)	再生上質	四六90kg	—
様式1の2	京都府立特別支援学校幼稚部入学希望者調査書	A4(縦長)	再生上質	四六90kg	—
様式2の1	入学願書(高等部)	A4(縦長)	再生上質	四六90kg	—
様式2の2	入学願書(高等部)	A4(縦長)	再生上質	規定なし	掲載
様式2の3	高等部普通科受検票(高等部普通科)	A4(縦長)	再生上質	四六90kg	—
様式2の4	京都府立特別支援学校高等部入学希望者調査書	A4(縦長)	再生上質	四六90kg	—
様式2の5	報告書	A4(横長)	再生上質	規定なし	掲載
様式2の6	報告書	A4(横長)	再生上質	規定なし	掲載
様式2の7	報告書(府立盲学校・聾学校用)	A4(横長)	再生上質	規定なし	掲載
様式2の8	追検査願(高等部普通科)	A4(横長)	再生上質	規定なし	掲載
様式3の1	入学願書(高等部職業学科)	A4(縦長)	再生上質	四六90kg	—
様式3の2	入学願書(高等部職業学科)	A4(縦長)	再生上質	規定なし	掲載
様式3の3	高等部職業学科受検票(高等部職業学科)	A4(縦長)	再生上質	四六90kg	—
様式3の4	京都府立特別支援学校高等部入学希望者調査書(職業学科)	A4(縦長)	再生上質	四六90kg	—
様式3の5	報告書(高等部職業学科)	A4(横長)	再生上質	規定なし	掲載
様式3の6	報告書(高等部職業学科)	A4(横長)	再生上質	規定なし	掲載
様式3の7	報告書(高等部職業学科)	A4(横長)	再生上質	規定なし	掲載
様式3の8	療育手帳取得に係る確認書(高等部職業学科)	A4(縦長)	再生上質	規定なし	掲載
様式3の9	追検査願(高等部職業学科)	A4(横長)	再生上質	規定なし	掲載
様式4の1	幼稚部入学希望者一覧表	A4(縦長)	再生上質	規定なし	掲載
様式4の2	高等部入学希望者一覧表	A4(縦長)	再生上質	規定なし	掲載
様式5	選考結果通知書(高等部普通科)	A4(縦長)	再生上質	規定なし	—
様式6	合格通知(高等部職業学科)	A4(縦長)	再生上質	規定なし	—
第1号様式	京都府立特別支援学校入学志願について	A4(縦長)	再生上質	規定なし	掲載
第2号様式	京都府立特別支援学校入学志願者の保護者届	A4(縦長)	再生上質	規定なし	掲載
第2号様式	副申書	A4(縦長)	再生上質	規定なし	掲載
様式例	同意書	A4(縦長)	再生上質	規定なし	掲載
様式例	京都府立特別支援学校入学志願許可書	A4(縦長)	再生上質	規定なし	—
第3号様式	京都府立特別支援学校入学志願者の住所に関する届	A4(縦長)	再生上質	規定なし	掲載
第3号様式	副申書	A4(縦長)	再生上質	規定なし	掲載
様式例	同意書	A4(縦長)	再生上質	規定なし	掲載
様式例	受理書	A4(縦長)	再生上質	規定なし	—
第4号様式	京都府立特別支援学校入学志願許可申請書	A4(縦長)	再生上質	規定なし	掲載
様式例	京都府立特別支援学校入学志願許可書	A4(縦長)	再生上質	規定なし	—

注 ホームページアドレス 京都府教育委員会→特別支援教育課

<http://www.kyoto-be.ne.jp/tokubetsu/cms/>

問い合わせ先

京都府教育庁指導部特別支援教育課

〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町

TEL 075-414-5835

FAX 075-414-5739

ホームページアドレス

<http://www.kyoto-be.ne.jp/tokubetsu/cms/>